

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

## 安全作業をするための注意事項

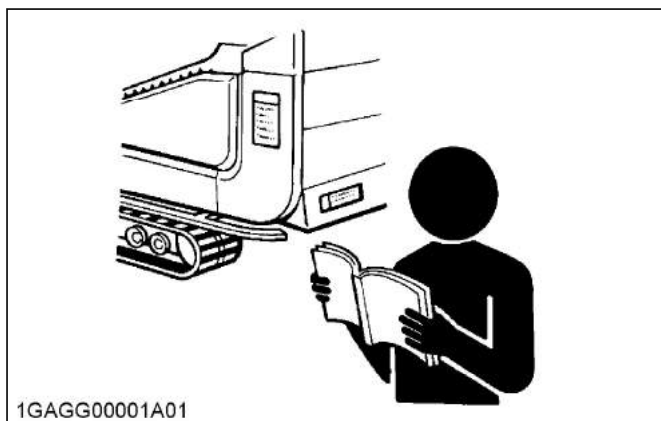
安全作業をするために、本章の注意事項を必ず守ってください。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は本章で述べたとおりですが、これ以外にも、本文の中で危険、警告、注意、重要、及び補足としてそのつど取上げています。

### 一般的な注意事項

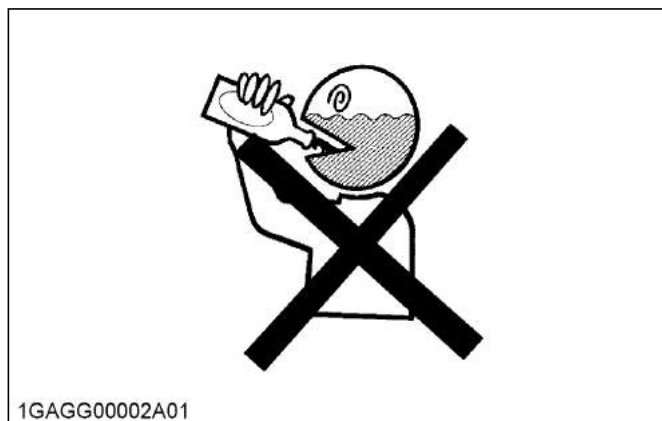
#### 1. 正しい運転及び作業方法

- 取扱説明書及び機械に貼付けている⚠表示ラベルをよく読み、正しい運転及び作業方法を覚えてください。死亡する又は傷害を負うおそれがあります。
- 本書記載事項以外についても、安全には細心の注意を払ってください。警告ラベルはいつもきれいにしておいてください。



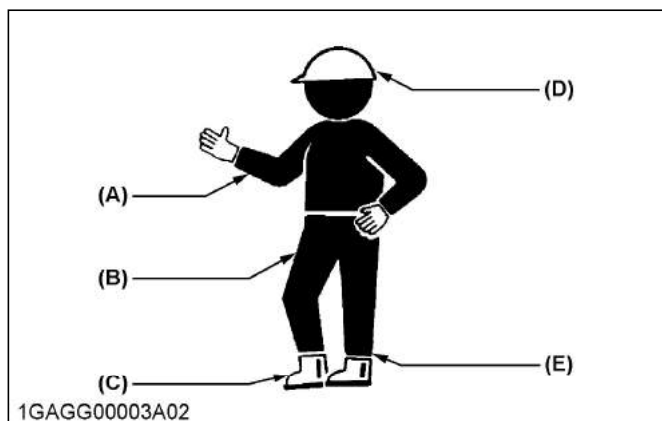
#### 2. 体の調子が悪いとき

- 体の状態が悪いときには運転操作をしないでください。思わぬ事故の原因になります。
- 運転操作には的確な判断が必要です。次の状態の方は、機械の運転操作を行わないでください。
  - お酒を飲んでいる方
  - 睡眠不足の方
  - 妊娠中の方
  - 過労又は病気の方
  - 16歳未満の方



#### 3. 作業に適した服装

- 作業時には、運転者及び補助者とも作業に適した服、ヘルメット、及び滑りにくい靴を着用してください。レバー又は作動部に引掛かる、滑るなどして、傷害を負うおそれがあります。
  - だぶついた服は着用しないでください。
  - そで口はきっちりと止めてください。
  - はち巻き、首巻き、又は腰タオルは着用しないでください。
  - サンドル、スリッパなどの履物は着用しないでください。
  - 必要に応じて安全靴、保護メガネ、手袋などを着用してください。
  - 点検整備には帽子及び安全な服装を着用してください。
- 作業内容によってはヘルメット、安全靴、保護メガネ、防塵マスク、防音具、保護手袋などの保護具を着用してください。
- 各保護具は使用前に機能を確認してください。



(A) そで口スッキリ  
(B) 身に合った服  
(C) 滑りにくい靴

(D) ヘルメット着用  
(E) スッキリしたスソ

# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

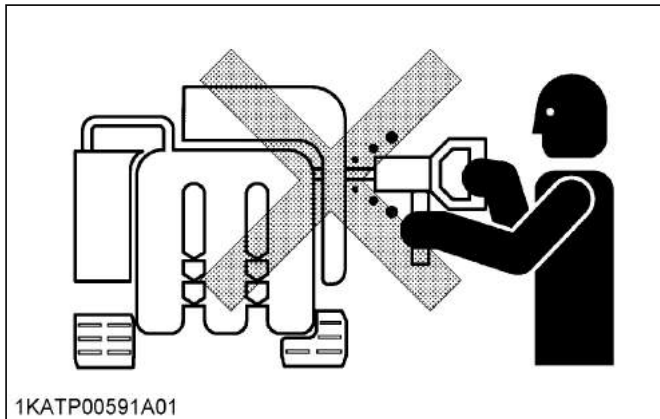
## 4. 運転してはいけない人

- 取扱説明書又は⚠️表示ラベルの内容が理解できない人及び子供には絶対運転させないでください。死亡又は傷害をまねくおそれがあります。
- 機械を他人に貸すとき又は運転させるときは、取扱説明書を読ませるとともに、取扱方法及び安全な使いかたを説明して、安全な作業ができるよう指導してください。



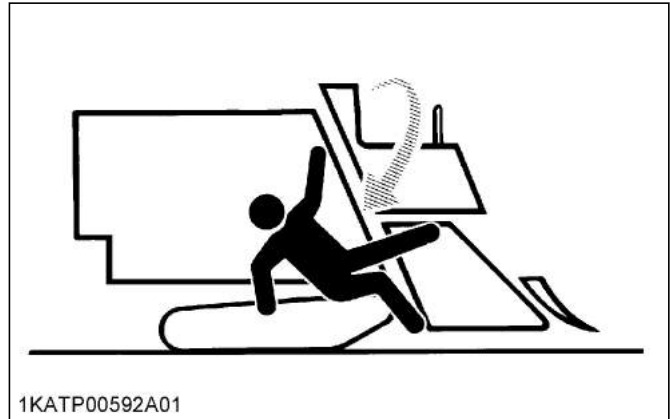
## 5. 改造禁止

- 機械を改造しないでください。安全性をそこない、思わぬ事故の原因になります。



## 6. 飛び乗り及び飛び降り禁止

- 運転席に乗り降りするときは、飛び乗る、飛び降りるなどしないでください。転倒又は転落し、傷害を負うおそれがあります。
- 平坦な場所でハンドルをしっかり握り、すべらないようにステップに足をしっかり掛けて乗り降りしてください。



## 7. 同乗禁止

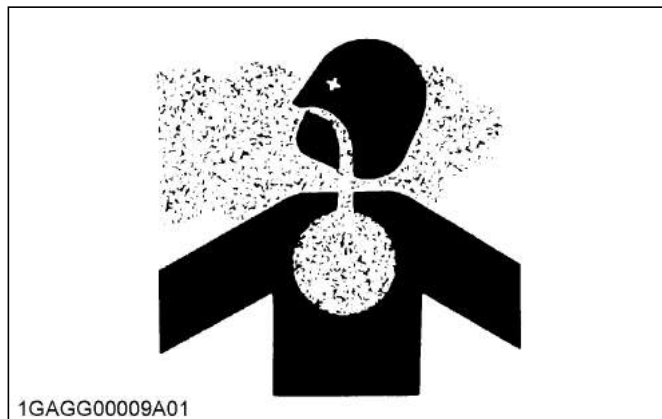
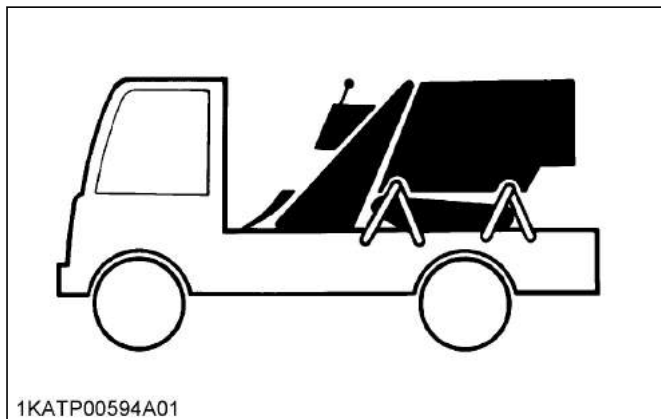
- 運転者以外は機械に乗らないでください。振り落とされる、ひかれるなどして、死亡する又は傷害を負うおそれがあります。
- 動いている機械に飛び乗る、飛び降りるなどしないでください。



## 8. 公道の走行

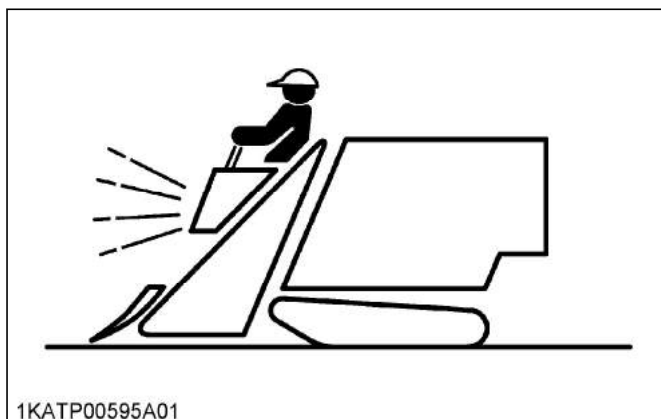
- 公道を走行するときは交通法規及び安全ルールを守ってください。交通事故をまねき、死亡する又は傷害を負うおそれがあります。
- 公道を走行する場合は、所定の手続き及び運転免許証が必要です。
- 公道を走行できない機械は、トラックで運搬してください。

# ⚠ 安全作業をするための注意事項



## 9. 夜間の使用禁止

- 夜間の作業又は移動走行は避けてください。交通事故、転倒、又は転落をまねき、死亡する又は傷害を負うおそれがあります
- やむをえず夜間作業を行うときは、ヘッドランプ及び作業灯を必ず点灯してください。
- やむをえず夜間に移動走行するときは、必ずヘッドランプを点灯し、作業灯は消灯させてください。



## 2. 火気厳禁

- 燃料補給中は火気厳禁。くわえタバコ又は裸火照明は近づけないでください。火災の原因になります。
- 燃料補給するときはエンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてください。
- 燃料やオイルをこぼしたときは、きれいにふきとってください。



## 作業前の注意事項

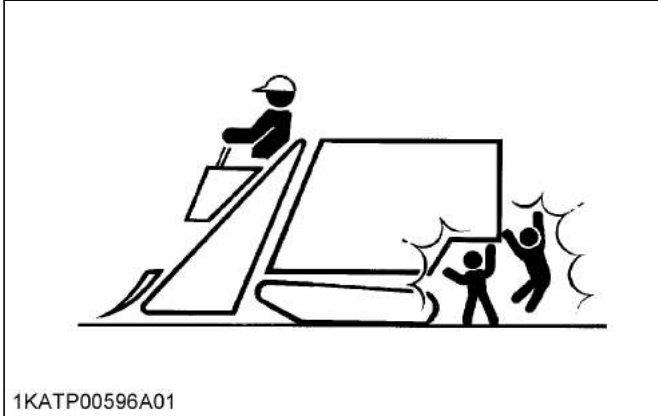
### 1. 屋内で運転するとき

- 屋内で運転するときは、排気ガスに注意して適切な換気をしてください。エンジンの排気ガスは有毒です。中毒を起し死亡事故にいたるおそれがあります。
- 排気管を屋外に延長する又はドア又は窓を開け、外気が充分入るようにしてください。

### 3. 周囲の安全

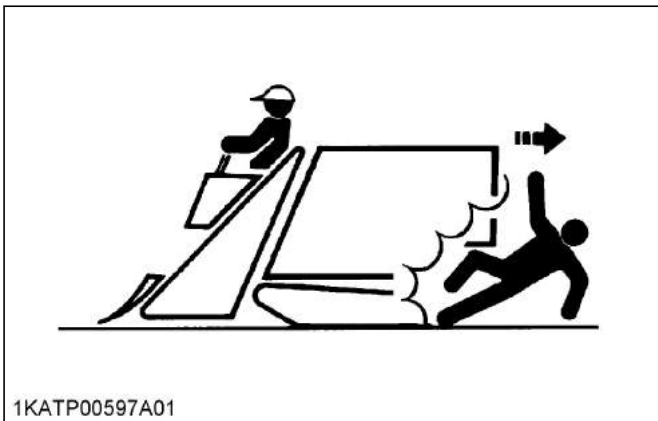
- 機械を動かすときは周囲の安全に気をつけてください。回転物に巻込まれて又は挟まれて重大な傷害を負うおそれがあります。
- エンジンを始動するときは、運転席に座って、主変速レバーを[停止]位置、副変速レバーをN（中立）以外の位置、及び作業レバー（楽刈レバー）を[切]位置にして、ホーンを鳴らすなどの合図をしてください。
- 機械を発進するとき及び作業レバー（楽刈レバー）を入れるときは、ホーンを鳴らすなど合図してから行なってください。

# ⚠ 安全作業をするための注意事項



## 4. 初めての運転

- 初めて運転する人は、操作になれるまで低速で運転してください。思わぬ事故の原因となります。



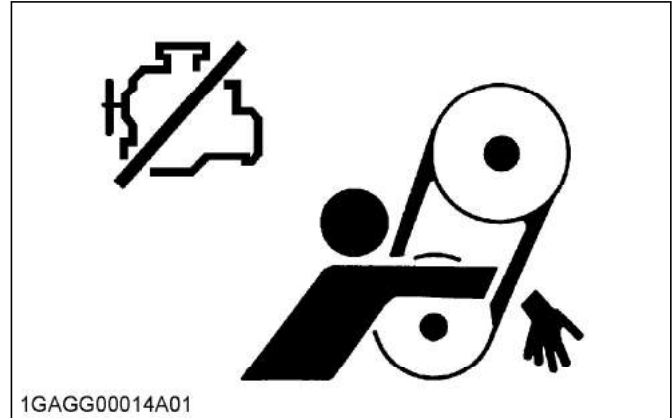
## 5. 作業前点検

- 作業前点検（日常点検）を実施してください。整備不良による事故で傷害を負うおそれがあります。
- 運転の前には点検を行ってください。詳細は運転前の点検（133 ページ）を参照してください。異常があれば整備してから運転してください。



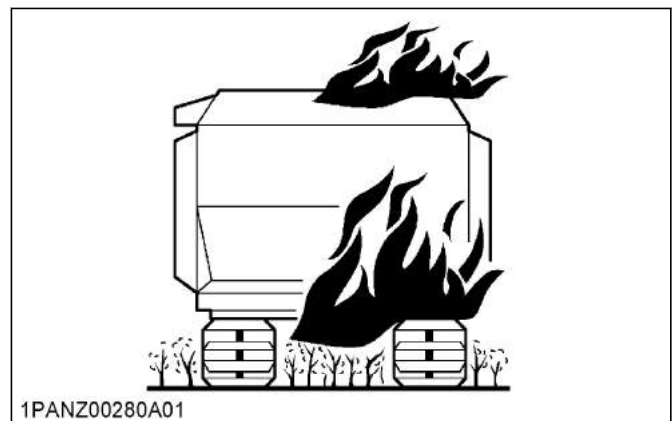
## 6. 点検、整備、掃除、及び給油するとき

- 点検、整備、掃除、及び給油するときは、エンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてください。回転部に巻込まれて傷害を負うおそれがあります。
- 取外した安全カバー及び保護カバーは必ずもとどおりに取付けて作業してください。



## 7. わらくずの除去

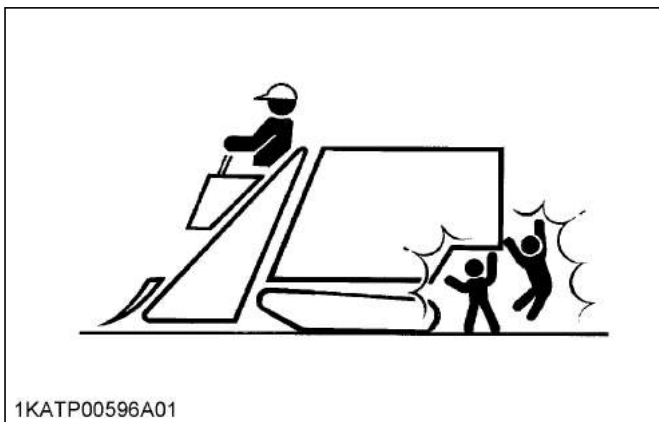
- 次の部分に堆積しているわらくずなどのごみ及び泥の堆積又は付着した燃料はきれいに取除いてください。火災の原因になります。
  - 各ベルトカバー内
  - 各回転物カバー内
  - エンジン周辺
  - マフラ及びその周辺（排気口までの部位）
  - バッテリー周辺
  - プーリ周辺
  - 配線部周辺
  - 燃料タンク周辺
  - 燃料配管周辺（タンク、フィルタ、ポンプ、及び配管）
  - 防じんあみ周辺



# ⚠ 安全作業をするための注意事項

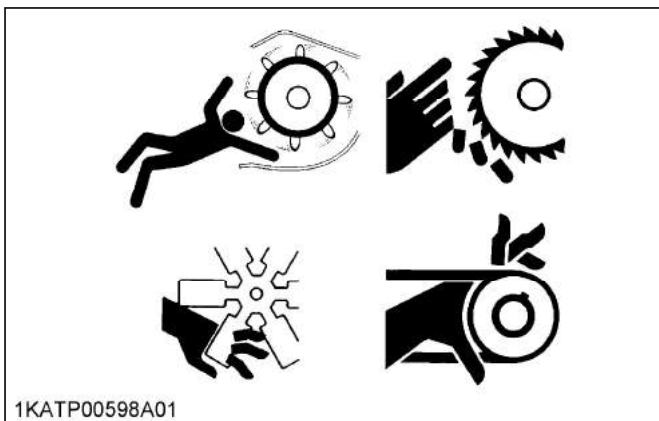
## 8. 子供を機械に近づけない

- 点検整備中及び作業中は機械に子供を近づけないでください。回転物に巻込まれて又は挟まれて重大な傷害を負うおそれがあります。



## 9. 各カバー及びグレンタンクを開くとき

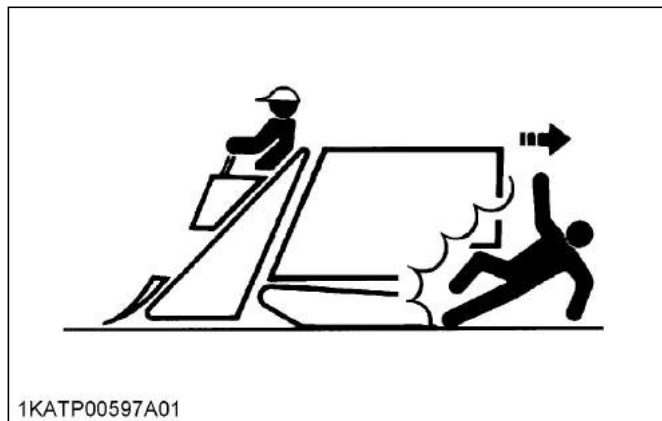
- 刈取部、引起し部、運転操作部、カッタ部、結束機、防じんカバー、及びグレンタンクを開閉するときは、エンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてください。内部の回転物に接触して又は巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。
- 各部の開閉を行うときは平たんな場所で行ってください。
- 刈取部、引起し部、カッタ部、グレンタンク、及び結束機を開いたときは、ストッパを掛けてください。
- 各部を開いたままエンジンを始動しないでください。



## 10. 後進するとき [Q仕様]

- 後進するときは、液晶モニタの画像だけをみながらの運転操作はしないでください。接触する、ひかれるなどして、死亡する又は重大な傷害を負うおそれがあります。

- 後進するときは、機械の周りに人、障害物などがいないか、バックミラー及び目視で必ず後方の確認をしながらゆっくりと運転操作を行ってください。
- 夜間は視界が悪いため、運転操作を行うときは、特に機械の周りに人、障害物などがいないか確認しながらゆっくりと運転操作を行ってください。
- CMOS カメラから液晶モニタに写しだされる画像（広角映像）に慣れるまでは、ゆっくりと慎重に運転操作を行ってください。



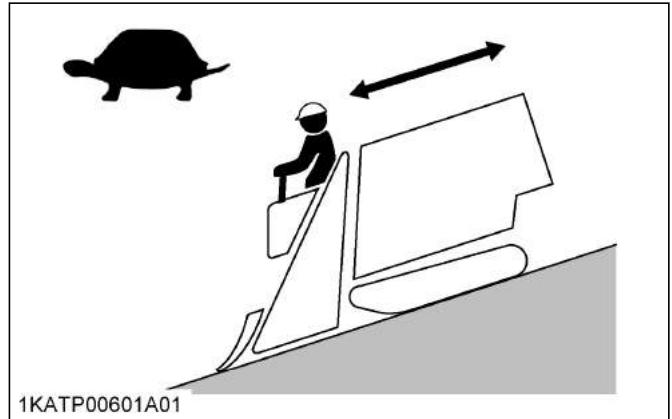
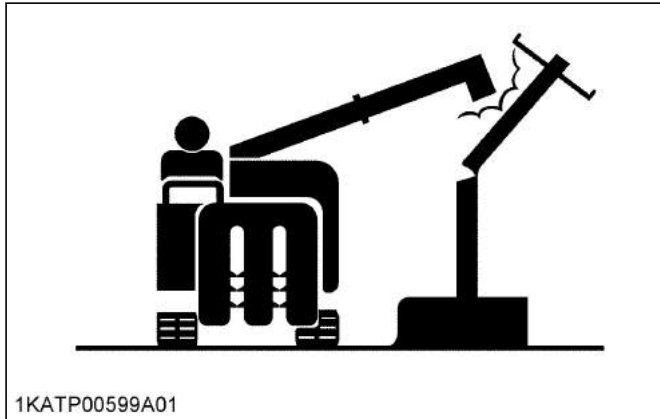
## 移動走行、ほ場の出入り、及び駐車時の注意事項

### 1. 移動走行するとき

移動走行するときは、次の事項を守ってください。人又は物を傷つける又は機体のバランスをくずして転倒するおそれがあります。

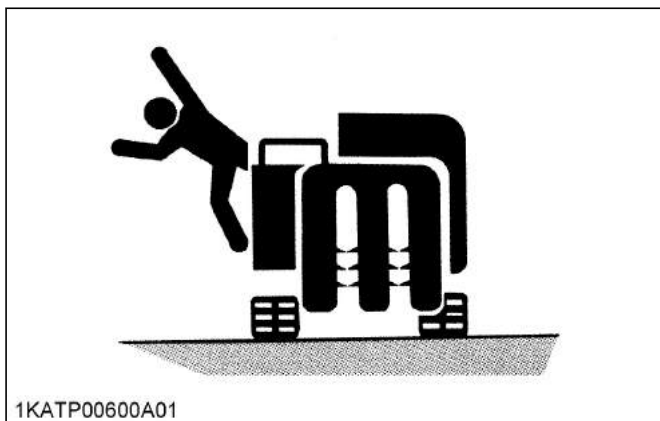
- 機体各部（特に排気管周辺）に付着又は堆積しているわらくず及び付着した燃料はきれいに取除いてください。
- 作業レバー（楽刈レバー）を【切】位置及びもみ排出スイッチを切にし、運転者以外に人を乗せないでください。
- もみは全て排出してください。
- 副変速レバーを切換えるときは、平たんな場所で主変速レバーを【停止】位置にし、走行をいったん止めてから行ってください。
- 刈取部のデバイダ先端にはデバイダカバーを取付けてください。
- 補助デッキ、左分草かん、及び補助ステップを収納して、機体幅を狭くしてください。
- アンローダを下げ、アンローダ支えに収納してバンドを掛けてください。
- 自動車体水平制御は、機体を一番下げた状態にしてください。

# ⚠ 安全作業をするための注意事項



## 2. 急旋回禁止

- 移動走行時は急旋回をしないでください。機械から振り落とされる又は転倒するおそれがあります。
- 方向を変えるときは、走行速度を落として（低速にして）、パワーステアリングレバーをゆっくり操作して旋回してください。

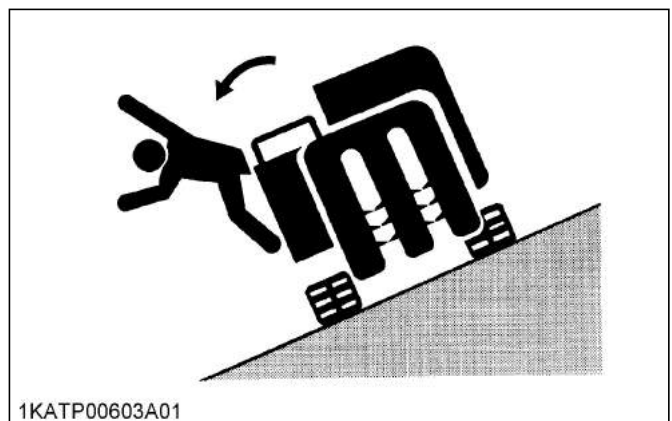


## 3. 左右の傾きのある傾斜地での走行

- 右又は左方向の傾きがある傾斜地は走行しないでください。機体のバランスをくずして転倒するおそれがあります。
- 坂道（傾斜地）及びほ場の進入路では、上り又は下り方向に低速でゆっくりと走行してください。
- 坂道（傾斜地）では、右又は左に傾いた方向に走行しないでください。
- 坂道（傾斜地）では、斜め走行及び旋回をしないでください。

## 4. 坂道での走行

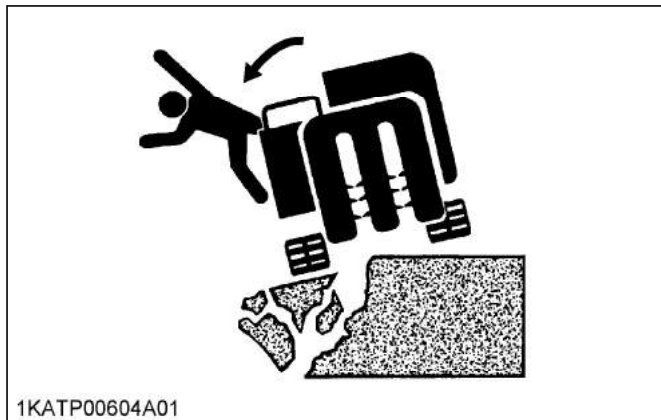
- 坂道（傾斜地）では走行速度を落としてください。暴走する又は転倒するおそれがあります。
- もみは全て排出してください。
- 坂道（傾斜地）では、急なパワーステアリングレバーの操作及び副変速切換スイッチ、副変速レバー、ポジピタスイッチ、ブレーキペダル、水平操作手動スイッチ、傾斜角手動調節スイッチ、旋回モード切換えダイヤル、旋回力アップトリガ、及びアンローダリモコンの操作はしないでください。
- 坂道（傾斜地）では、斜め走行及び旋回はしないでください。



# ⚠ 安全作業をするための注意事項

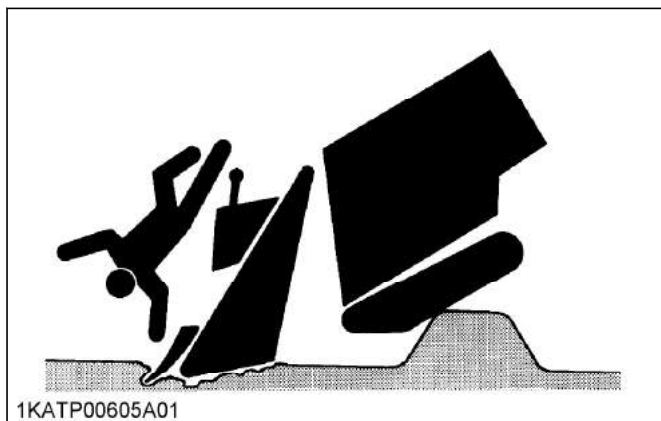
## 5. 道幅が狭く、高所にある道路

- 道幅に余裕がなく高所にある道路（土手）は、走行しないでください。機体のバランスをくずして転倒又は転落するおそれがあります。
- 溝のある農道又は両側が傾斜している農道は路肩に注意してください。
- 溝、穴、及び土手の近くは走行しないでください。
- 水溜まり、草のおい茂った場所など、地面がよくみえないときは、事前に降車してよく確かめてください。



## 6. ほ場の出入り

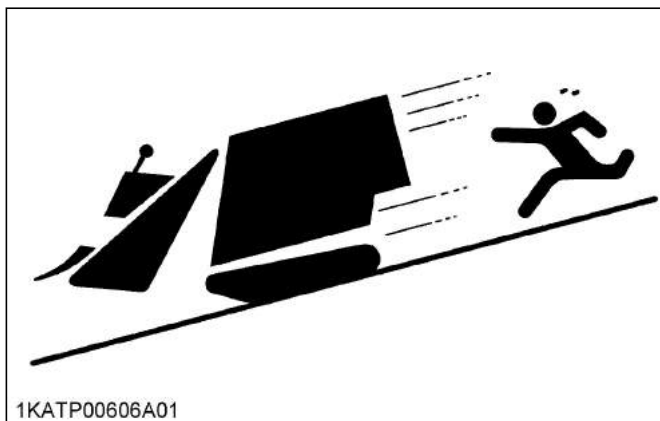
- ほ場の出入りで、あぜなど段差のある場所ではあゆみ板を使ってください。機体のバランスをくずして転倒するおそれがあります。
- 10 cm 以上の段差のある場所では、段差の4倍以上の長さで基準に合ったあゆみ板を使ってください。
- あゆみ板は段差に直角に置いてください。
- グレンタンク内のもみは全て排出してください。



## 7. 駐車するとき、運転席を離れるとき

- 駐車するとき及び運転席を離れるときは、平坦な場所に止め、副変速レバーを作業・走行又はあぜごえ位置にし、駐車ブレーキを掛け、刈取部を地面に当たるまで降ろして、エンジンを必ず止めて、キーを抜いてください。機械が暴走し、思わぬ事故のおそれがあります。

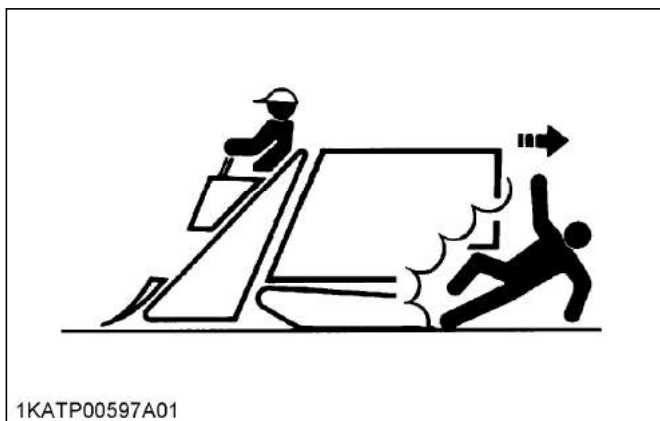
- やむをえず坂道（傾斜地）で駐車するときは、さらに木片などで確実に車止めをしてください。



## 作業時の注意事項

### 1. 共同作業するとき

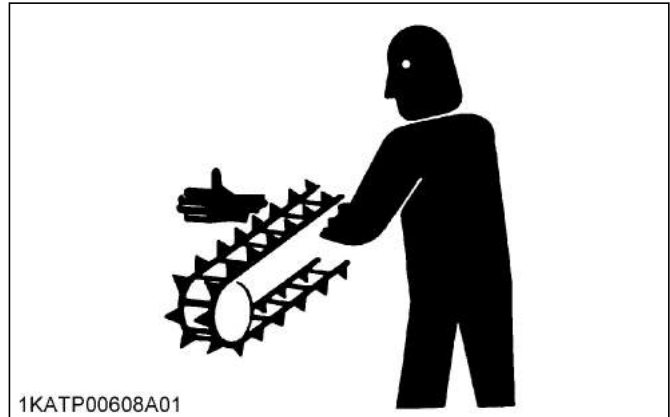
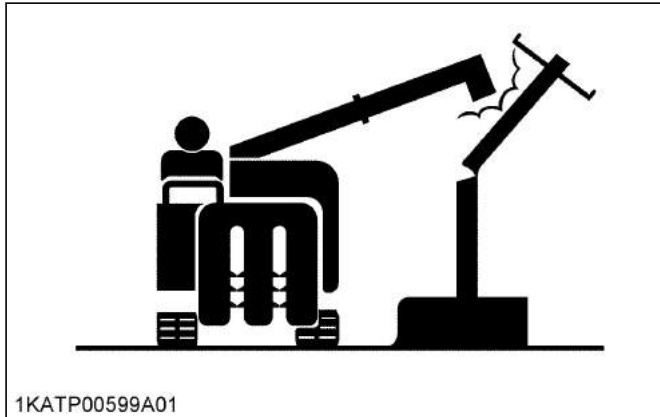
- 共同作業するときには、ホーンなどで合図を行ってください。補助者は運転席からみえにくい位置にすることがあり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- エンジン始動時及び各作業のクラッチ又はスイッチを入れるときは、ホーンなどで合図し、必ず補助者のOKをもらってください。
- 補助者が機械に近づくときは、運転者に知らせることを徹底させてください。



### 2. アンローダを動かすとき

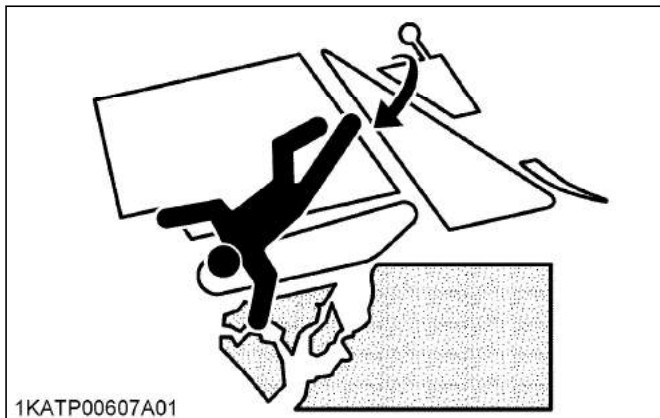
- アンローダを動かすときは、旋回範囲に人又は障害物がないことを確認してください。人又は物を傷つける又は機体のバランスをくずして転倒するおそれがあります。
- 旋回範囲に人がいる又は障害物があるときは、アンローダを動かさないでください。
- アンローダは、アンローダ支えに収納した状態で作業を行ってください。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項



### 3. すみ削りを行うとき

- すみ削りを行うときは後方を充分確認してください。後退しすぎると、転倒又は転落するおそれがあります。

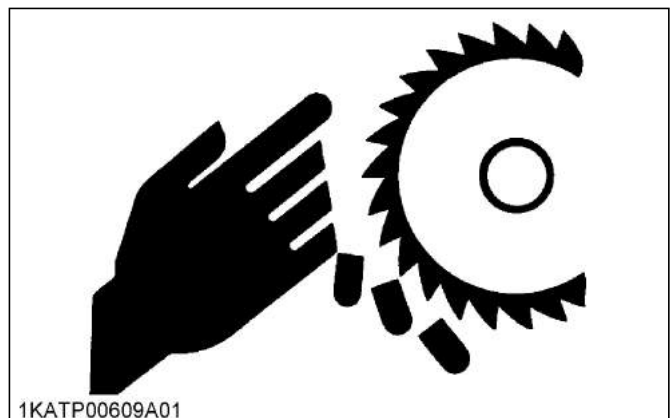
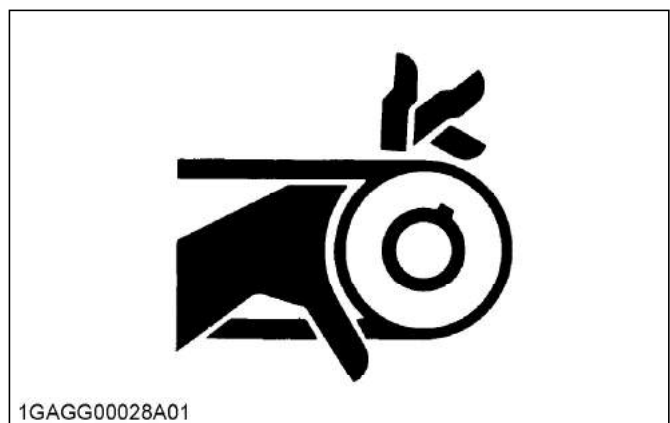


### 4. 手こぎ作業するとき

- 手こぎ作業するときは、手及び腕の位置を必ずチェーンの外側にして、少量ずつ供給してください。チェーンに巻込まれて重大な傷を負うおそれがあります。
- 機械は平たんな場所に止めて、刈取部を地面に接地させて刈取部を止め、駐車ブレーキを掛けてください。
- ソード口はきっちり止めて、手袋、はち巻き、首巻き、及び腰タオルは着用しないでください。
- 自動車体水平制御は、機体を一番下げた状態にしてください。
- 刈取防じんカバー付きの機械は、刈取防じんカバーを開けてください。
- 刈取クラッチを切にして、手こぎレバーを起こし、枕こぎ台の上にわらを乗せて手削り脱こくを行ってください。
- 脱こく部入り口にたまった、わら、もみなどを脱こく部に入れるときは、チェーンに手又は腕が巻込まれないように、少量ずつ行ってください。

### 5. 異常に気づいたら

- 異常に気づいたら、すぐエンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてください。カッタ刃、チェーンなどの作動部に接触して又は巻込まれて、重大な傷を負うおそれがあります。
- わらの巻付き又は詰まりを取除くとき及びもみの点検及び掃除をするときは、作業レバー（楽刈レバー）を[切]位置及びもみ排出スイッチを切にし、エンジンを必ず止めて処置してください。
- カッタに詰まったわらなどを取除くときは、厚手の手袋を着用して少しずつ取除いてください。
- 素手で刃先にはさわらないでください。
- 引起し部を上げて刈取部に詰まったわらなどを取除くときは、下降防止のロック金具を掛けてください。

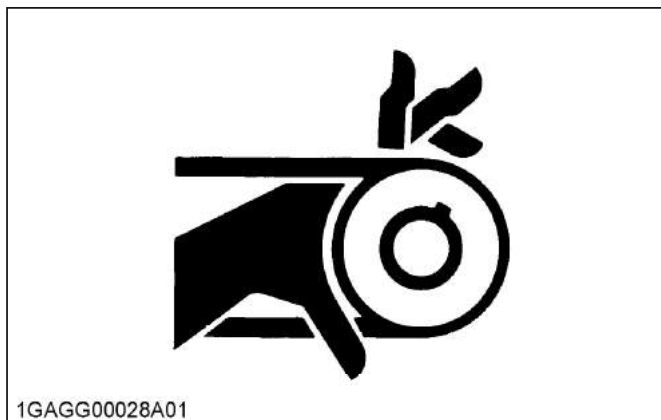




# ⚠ 安全作業をするための注意事項

## 6. 点検及び掃除で外したカバー

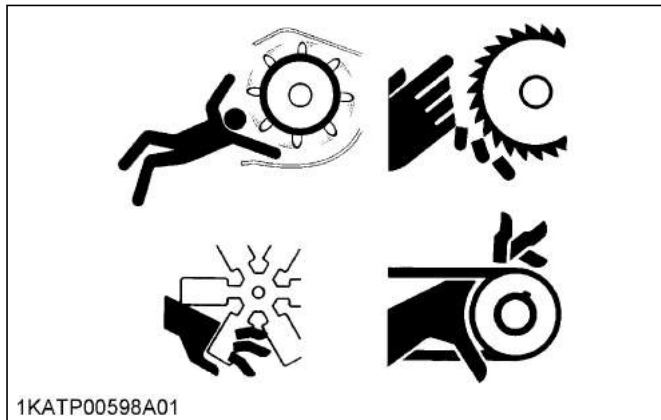
- 点検又は掃除で外したカバーは、必ず取付けてください。内部の回転物に接触して又は巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。
- ベルト、チェーン、掃除口、及び点検窓のカバーなどを外したままで運転しないでください。



## 作業後及び格納時の注意事項

### 1. 点検及び掃除をする前に

- 点検又は掃除する前に、エンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜いてください。機械に巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。



### 2. 点検及び掃除をするとき

- 点検及び掃除は、エンジン停止後、各部が冷えてから行ってください。やけどを負うおそれがあります。
- エンジン本体、マフラ、及び排気管は、エンジン停止直後は触れないでください。



### 3. わらくずの除去

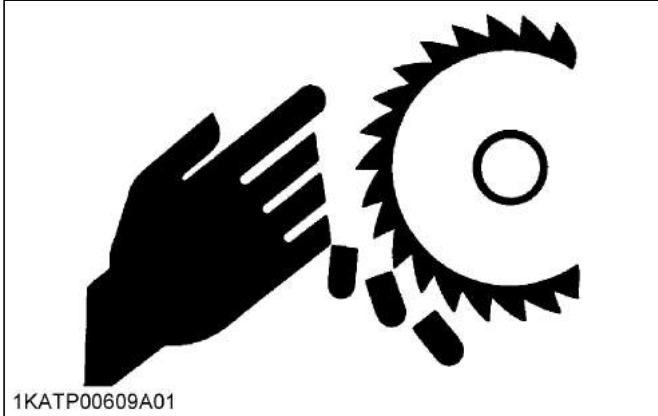
- 次の部分に堆積しているわらくずなどのごみ及び泥の堆積又は付着した燃料は、きれいに取除いてください。火災の原因になります。
  - 各ベルトカバー内
  - 各回転物カバー内
  - エンジン周辺
  - マフラ及びその周辺（排気口までの部位）
  - バッテリ周辺
  - プーリ周辺
  - 配線部周辺
  - 燃料タンク周辺
  - 燃料配管周辺（タンク、フィルタ、ポンプ、及び配管）
  - 防じんあみ周辺



### 4. 刈刃にさわらない

- 掃除するときは、刈刃及びカッタの刃先にさわらないでください。刃先で傷害を負うおそれがあります。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項



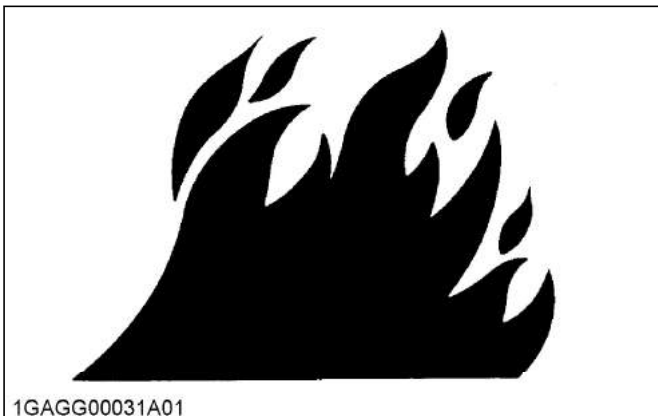
### 5. バッテリーの取扱い

- バッテリーの近くに裸火（マッチ、ライター、タバコの火など）を近づけない及びバッテリーケーブルをショートさせないでください。バッテリーからは水素ガスの発生があり、引火爆発のおそれがあります。



### 6. 電気配線の点検

- ワイヤハーネス、バッテリーコードなど電気配線に被覆の破れ又は挟み込みがないか点検してください。ショートによる火災発生のおそれがあります。



### 7. 機体にカバー（おおい）をかけるとき

- 機体にカバー（おおい）をかけるときは、エンジン及びマフラーが冷えてから掛けてください。火災が発生するおそれがあります。



## 点検整備時の注意事項

### 1. 定期点検整備

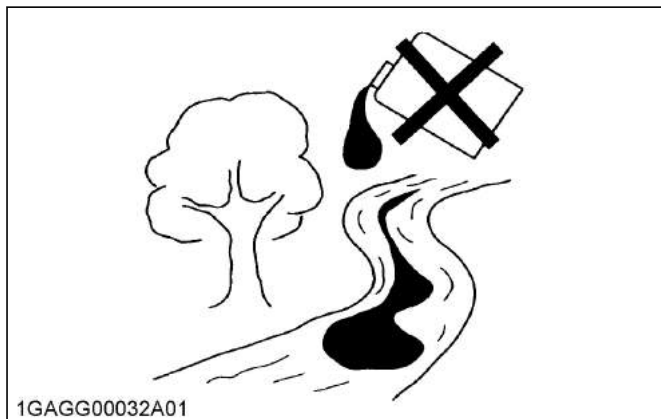
- 定期点検整備を行い、各部の保守をしてください。整備不良による事故で傷害を負うおそれがあります。



### 2. 廃棄物の処理

- 廃棄物をみだりに捨てない及び焼却しないでください。環境汚染につながります。
- 機械から廃液を抜く場合は、容器に受けてください。
- 地面へのたれ流し及び河川、湖沼、又は海洋への投棄はしないでください。
- 廃油、燃料、尿素水、冷却水（不凍液）、冷媒、溶剤、フィルタ、バッテリー、ゴム類、又はその他の有害物を廃棄又は焼却するときは、購入先又は産業廃棄物処理業者などに相談して、所定の規則に従って処理してください。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項



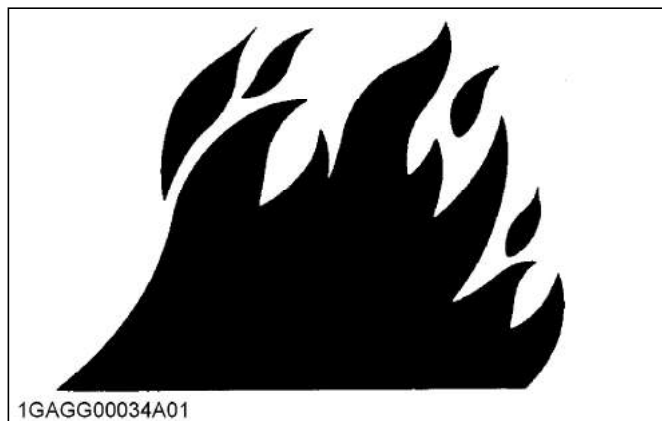
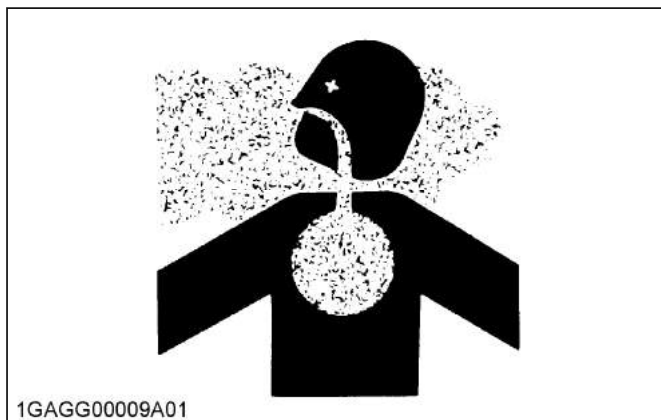
### 3. DPF 再生処理を行うとき

DPF 再生処理中は、マフラ及び排気ガスが高温になるため、DPF 再生処理を行うときは、次の事項を守ってください。中毒を起こし死亡事故にいたる、やけどを負う、又は火災が発生するおそれがあります。

#### DPF

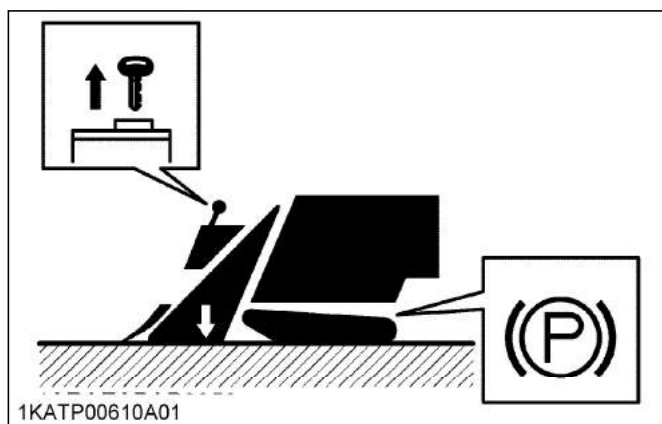
ディーゼル微粒子除去装置(Diesel Particulate Filter)

- DPF 再生処理中はコンバインから離れないでください。
- 納屋、倉庫など換気の悪い場所では再生処理を行わないでください。
- 高温の排気ガスが当たらないように、コンバインの周囲に人又は可燃物を近づけないでください。
- 火災防止のため、DPF マフラの周囲は可燃物を取除き、常にきれいにしておいてください。



### 4. 点検、整備、交換、及び掃除を行うとき

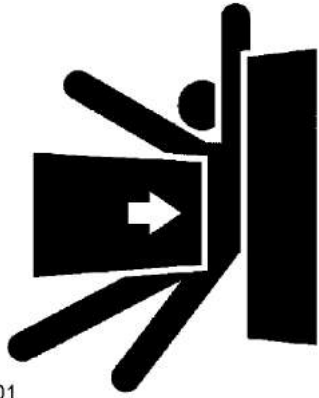
- 各部の点検、整備、交換、又は掃除を行うときは、平たんな場所で、エンジンを必ず止めて、メインスイッチのキーを抜き、各クラッチレバーを切位置にして、駐車ブレーキを掛けてください。機械に挟まれて又は巻込まれて傷害を負うおそれがあります。



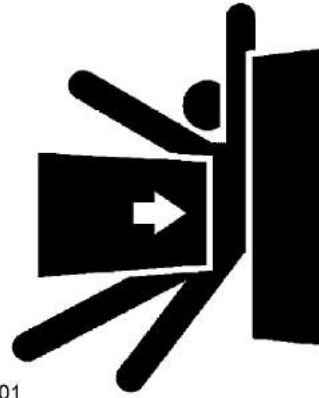
### 5. 刈取部、引起し部、カッタ部、結束機、及びグレンタンクを開くとき

- 刈取部、引起し部、カッタ部、結束機、又はグレンタンクを開いたときは、ストッパで固定してください。機械に挟まれて傷害を負うおそれがあります。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項



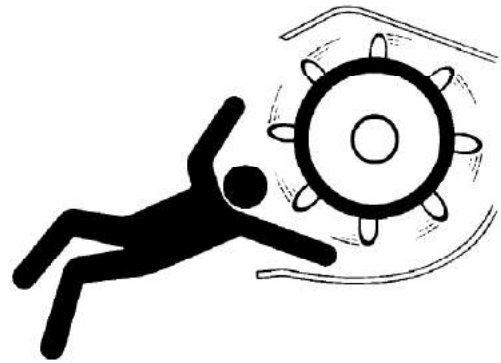
1GAGG00037A01



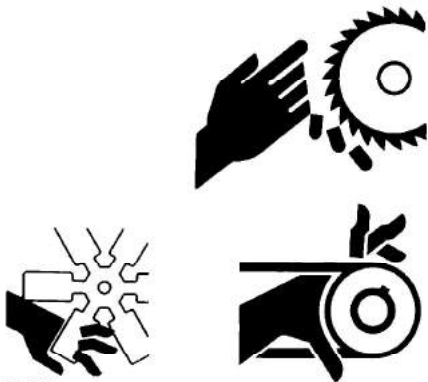
1GAGG00037A01

### 6. 刈取部、引起し部、運転操作部、カッタ部、結束機、防じんカバー、及びグレンタンクを開くとき

- 刈取部、引起し部、運転操作部、カッタ部、結束機、防じんカバー、又はグレンタンクを開いたままエンジンを回さないでください。内部の回転物に接触して又は巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。



1KATP00710A01



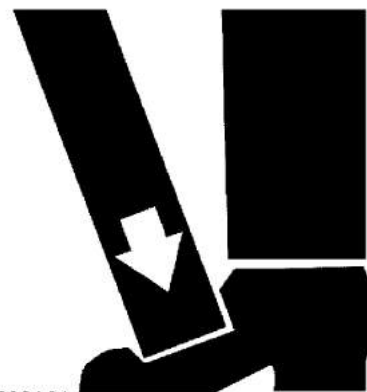
1KATP00611A01

### 7. こぎ胴を開くとき

- こぎ胴を開いて点検、整備、又は調整を行うときは、エンジンを必ず止めてください。機械に挟まれて傷害を負う又は内部の回転物に接触して又は巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。

### 8. 重量物の脱着作業

- シーブケース、切断軸アッシ、結束機など重量物の脱着作業は、3人以上で行ってください。不意の落下により、傷害を負うおそれがあります。



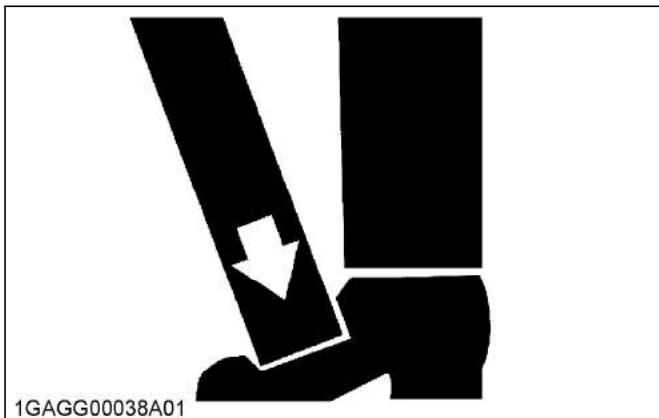
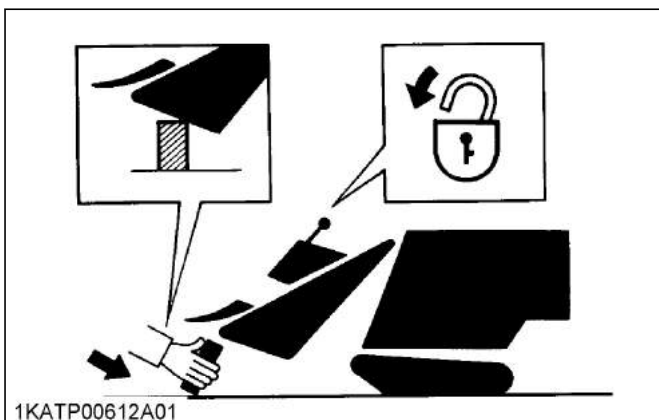
1GAGG00038A01

### 9. 刈取部を上げて点検、整備、及び掃除するとき

- 刈取部を上げる又は開いて点検、整備、又は掃除するときは、刈取部をロックするとともに、落下防止の歯止めをしてください。機械にはさまれて、傷害を負うおそれがあります。
- 作業前に、エンジンを必ず止めて、駐車ブレーキを掛けてください。

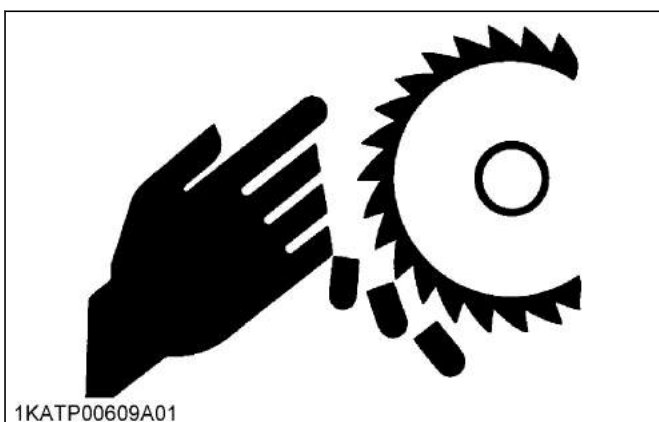
## ⚠ 安全作業をするための注意事項

- 刈取部の下へもぐる、足又は手をつっこむなどしないでください。
- 刈取部を開くときは、平坦な場所で、自動車体水平制御は機体を一番下げた状態にしてください。



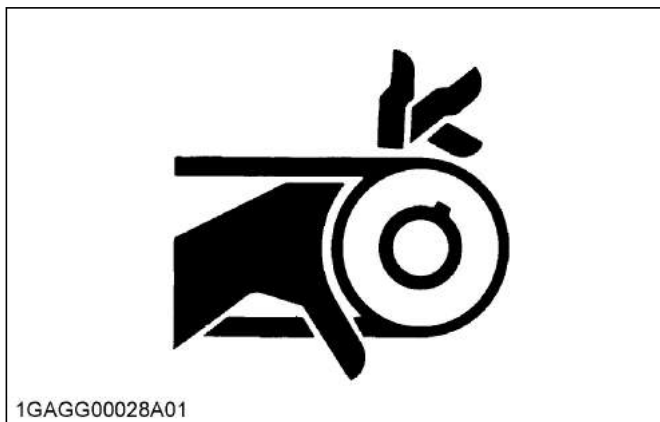
### 10. 刈刃、カッタ刃、及びわら切刃の調整及び交換

- 刈刃、カッタ刃、又はわら切刃を調整又は交換するときは、手袋を着用し、直接刃先にさわらないでください。刃先で傷害を負うおそれがあります。



### 11. 取外したカバー類

- 取外したカバー類は、必ず取付けてください。内部の回転物に接触して又は巻込まれて重大な傷害を負うおそれがあります。



### 12. バッテリを取外すとき

- バッテリを取外すときは、最初にマイナス（-）側のケーブルを取外してください。ヤケド又は発火爆発のおそれがあります。
- バッテリの近くに裸火（マッチ、ライター、タバコの火など）を近づけない及びバッテリーケーブルのショートによるスパークをさせないでください。
- バッテリを取付けるときは、最初にプラス（+）側のケーブルをプラス（+）側の端子に取付けてください。



### 13. バッテリの液量

#### 補水タイプ

- バッテリは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用及び充電をしないでください。LOWER（下限）以下で使用又は充電を続けると、爆発の原因となることがあります。
- バッテリ液が不足していれば、すぐに UPPER LEVEL（上限）と LOWER LEVEL（下限）の間に補水してください。
- 充電は機械から取外して行ってください。
- 充電は風通しのよい場所で行ってください。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項

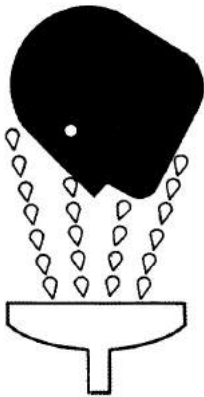
- ・ 放電したバッテリーにブースターケーブルなどを接続して始動するときは、取扱方法をよく読みそれに従ってください。



1GAGG00040A01

### 14. バッテリー液（希硫酸）を体に付着させない

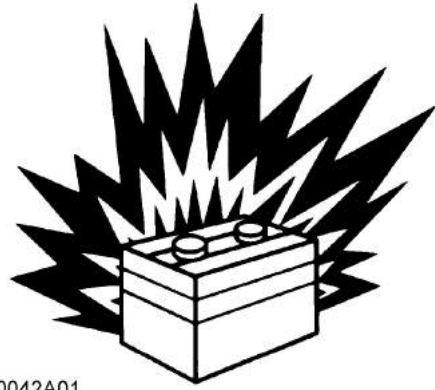
- ・ バッテリー液（希硫酸）を体に付着させないでください。失明又はヤケドのおそれがあります。
- ・ 目に入ったとき又は飲込んだときは、すぐ水でよく洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- ・ 皮ふ又は衣服についたときは、すぐ水でよく洗ってください。



1GAGG00041A01

### 15. 指定外のバッテリーは使わない

- ・ 指定外のバッテリーは使わないでください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- ・ 取扱説明書で指定しているバッテリーを使用してください。



1GAGG00042A01

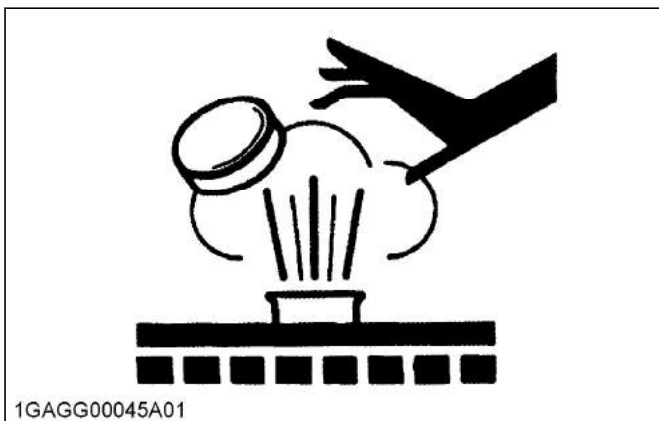


1GAGG00043A01

### 16. ラジエータの圧力キャップ及びリザーブタンク

- ・ ラジエータの圧力キャップ及びリザーブタンクは、エンジンが冷えてから開けてください。熱湯又は蒸気が吹き出して、ヤケド又は傷害を負うおそれがあります。
- ・ エンジン停止後、30分以上経過してからラジエータの圧力キャップを徐々にゆるめて蒸気の圧力を抜いてから開けてください。

## ⚠ 安全作業をするための注意事項

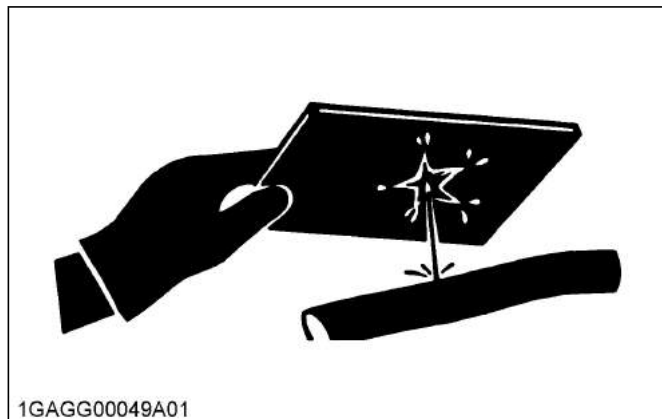
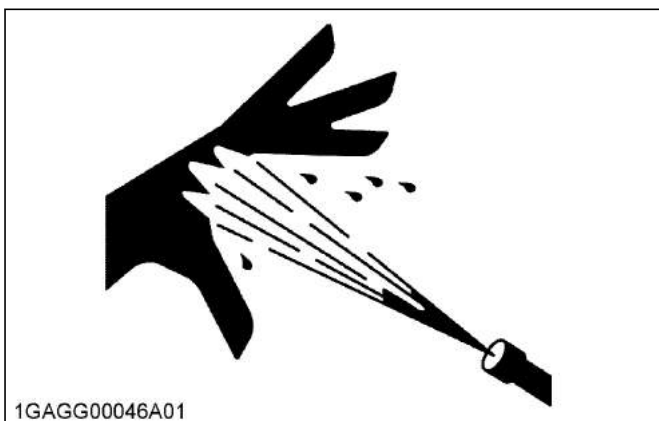
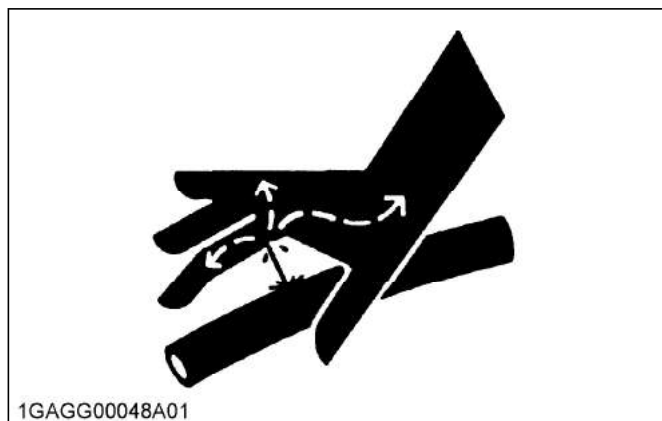


### 18. 燃料噴射管及び油圧パイプのもれ点検

- 燃料噴射管、油圧パイプなどからの高圧油のもれは、厚紙、板などを使って点検してください。油が皮ふに侵入して、強度のアレルギー又は感染症を引起す可能性があります。
- 高圧噴油に直接手を触れないでください。もし、触れた場合は、直ちに医者診断を受けてください。

### 17. ホース類の交換

- 燃料ホース、ラジエータホース、及びオイルドレンホースは、2年ごとに交換してください。燃料又は熱湯がもれて、火災又はヤケドを負うおそれがあります。
- ゴム類は時間がたつと劣化するので、定期的に交換してください。

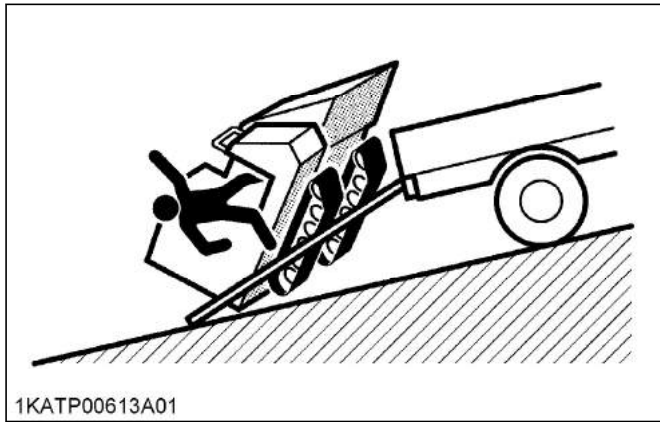


# ⚠ 安全作業をするための注意事項

## 運搬時の注意事項

### 1. 機械の積込み及び積降し作業

- トラックへの積込み及び積降しは平坦地で行ってください。あゆみ板がずれる、トラックが動くなどして機械が落下するおそれがあります。
- 機械の重量であゆみ板が傾くなどしない場所を選んでください。
- トラックの駐車ブレーキを掛け、トラックの変速レバーをR（後進）又は1速に入れたあと、さらにタイヤに車止めを行い、トラックが動かないようにしっかり固定してください。
- できるだけ助手の立ち会い誘導のもとに行ってください。
- 周囲に人を近づけないでください。



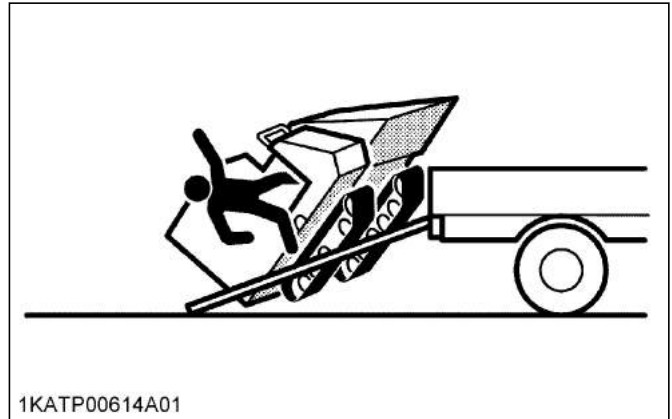
### 2. あゆみ板

- 積込み及び積降しには基準に合ったあゆみ板を使ってください。あゆみ板がずれる、外れるなどして機械が落下するおそれがあります。

#### あゆみ板の基準

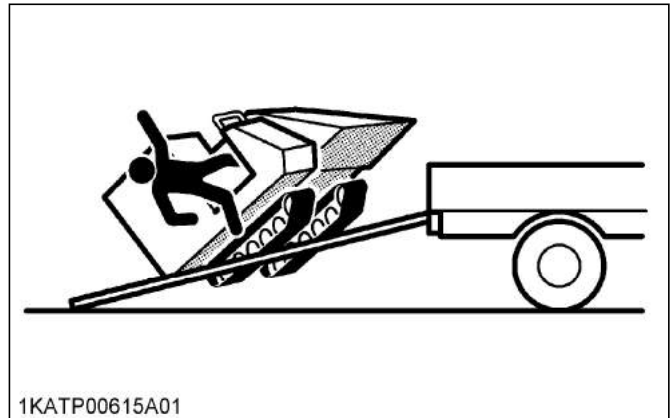
長さ	トラックの荷台の高さの4倍以上
幅	70 cm 以上
数量	2枚
強度	1枚が3500 kg 以上に耐えうる

- あゆみ板はフック及び必ず止めがついているものを使ってください。
- あゆみ板はトラックの荷台に平行に確実に掛けてください。



### 3. 機械の積込み及び積降し前

- 積込み及び積降し前に、もみは全て排出してください。バランスがくずれて、転倒又は転落するおそれがあります。
- アンローダを下げ、アンローダ支えに収納してバンドを掛けてください。
- 自動車体水平制御は、機体を一番下げた状態にしてください。

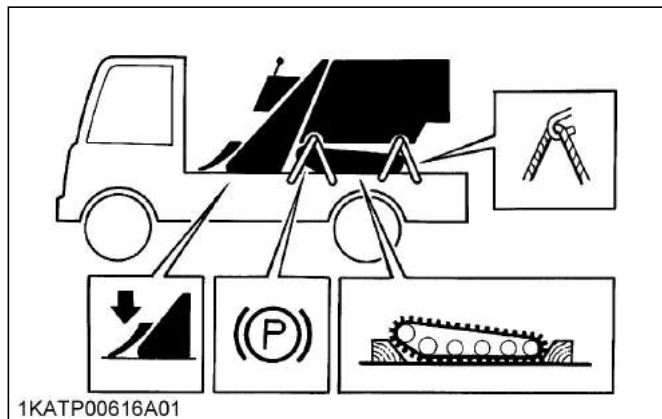
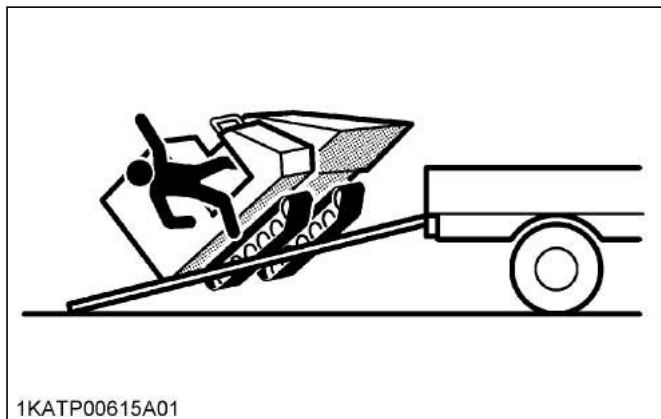


### 4. 機械の積込み及び積降し時の速度

- トラックへの積込み及び積降しは最低速で行ってください。バランスがくずれて、転倒又は転落するおそれがあります。
- 作業レバー（楽刈レバー）を[切]位置及びもみ排出スイッチを切にしてください。
- 積込みは前進で、積降しは後進で行ってください。
- 結束機を装着している機械は後進で積込み、前進で積降しを行ってください。

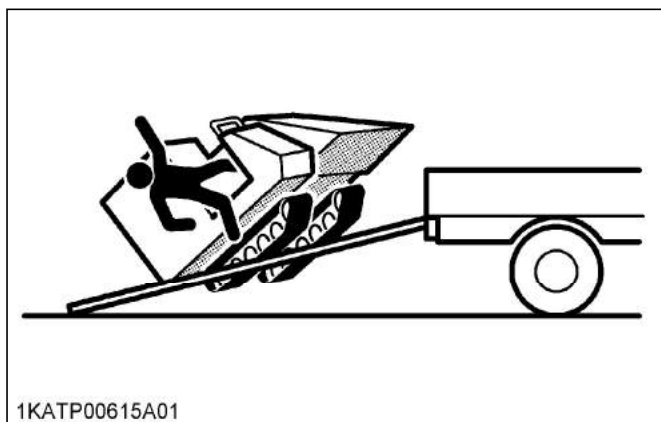


# ⚠ 安全作業をするための注意事項



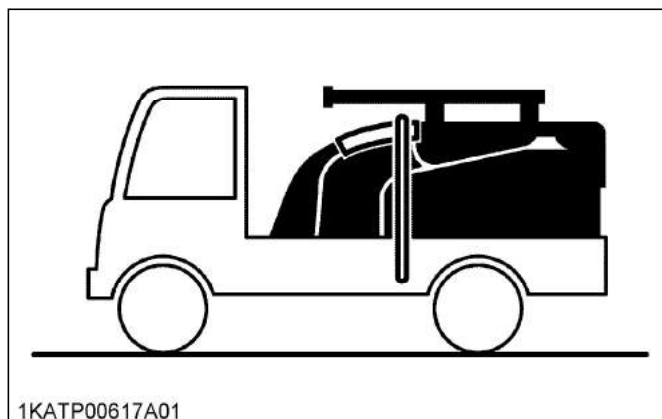
## 5. 機体の方向修正時の注意

- あゆみ板の上では方向修正しないでください。急旋回して又は暴走して、落下するおそれがあります。
- あゆみ板の上では、パワーステアリングレバーの操作及び副変速切換えスイッチ、副変速レバー、ポジピタスイッチ、ブレーキペダル、水平操作手動スイッチ、傾斜角手動調節スイッチ、旋回モード切換えダイヤル、旋回力アップトリガ、及びアンローダリモコンの操作はしないでください。
- 方向を変えるときは、いったん地上又は荷台にもどって方向を修正し、再度やり直してください。



## 7. 機体の各カバーの固定

- トラックに積んだときは、機体の各カバーを固定してください。
- 樹脂カバー、着脱の簡単なカバー、折りたたみ部品などは、ロープで確実に固定する又は外して荷台に置いてください。
- 刈取防じんカバーは閉じてください [刈取防じんカバー付]。

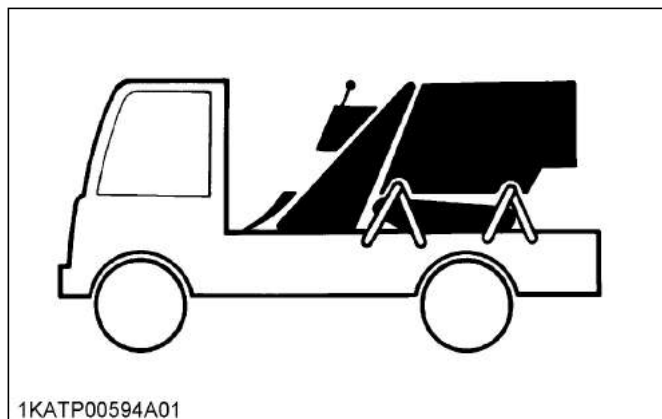


## 6. トラック荷台上での機械の固定方法

- トラックの上では、刈取部を床に当たるまで降ろして、駐車ブレーキを掛けてください。機械が動き、思わぬ事故のおそれがあります。
- 自動車体水平制御は、機体を一番下げた状態にしてください。
- 副変速レバーを作業・走行位置又はあぜごえ位置にし、駐車ブレーキを掛けてください。
- 所定のロープ掛けフック（4箇所）にロープを掛けてしっかり床に固定してください。
- 車止めをしてください。

## 8. 機械輸送時の注意

- 輸送中の急発進、急ブレーキ、及び急旋回は避けてください。輸送中に機械が動き、思わぬ事故のおそれがあります。



# 安全作業をするための注意事項

## その他の注意事項

### 1. 直接通信ユニットについての注意

- 身体から次の距離以上離してください。

身体からの距離	55 mm 以上
---------	----------

- 心臓ペースメーカーの装着位置から次の距離以内で使用しないでください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカー装着位置からの距離	22 cm 以内
--------------------	----------

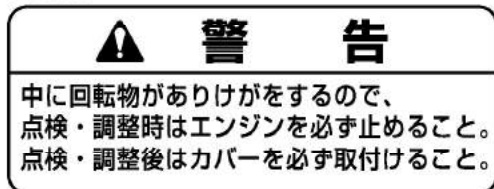
- 分解、改造、又は修理をしないでください。感電による障害又は火災のおそれがあります。
- 塗装をしないでください。故障の原因になる可能性があります。
- 本機に貼られている認証ラベルを剥がさないでください。
- 有毒ガスが充満する環境で使用しないでください。八口ゲン系燻蒸剤で燻蒸する場合もこれにあたります。

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

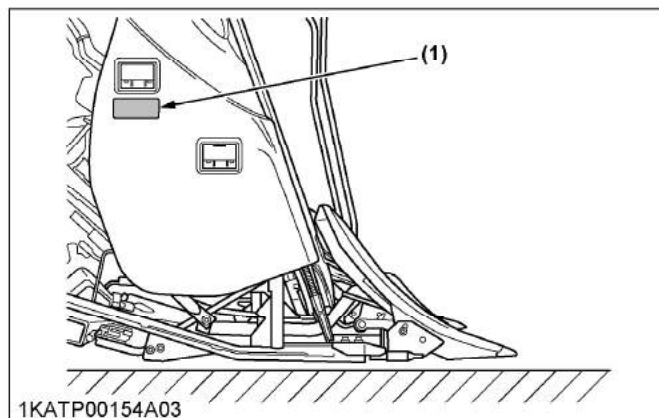
## 安全に作業するための表示ラベル

### 1. 表示ラベルの内容及び貼付位置

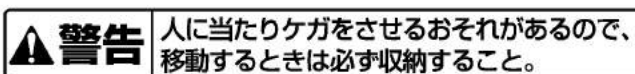
(1) 品番 5H923-7921-1



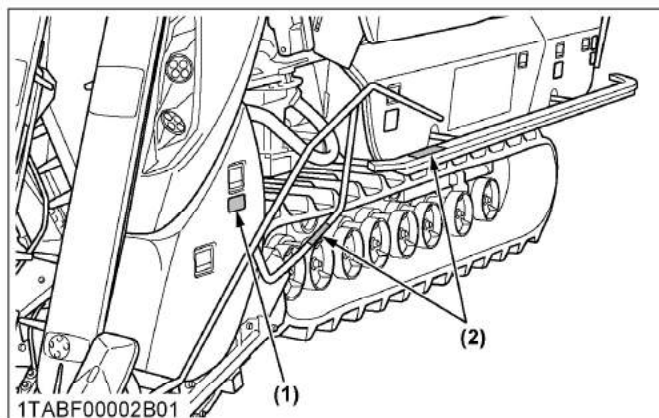
1ARAEBIAP001J



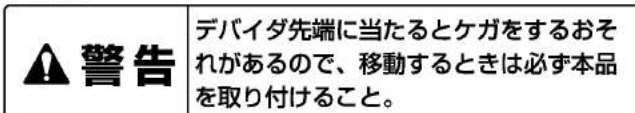
(2) 品番 5T156-4323-1



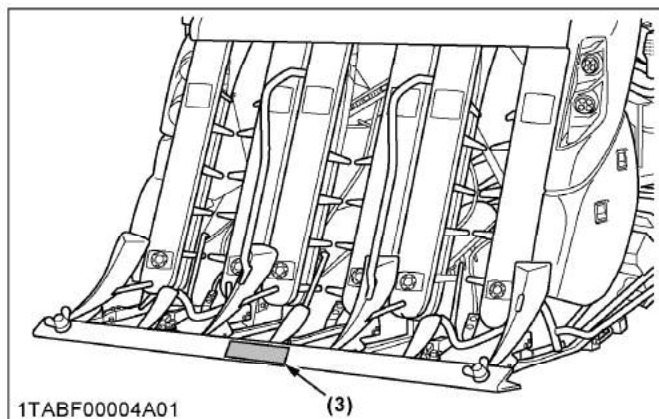
1ARAEBIAP002J



(3) 品番 5T130-4332-1




1ASAAEAAAAP389J



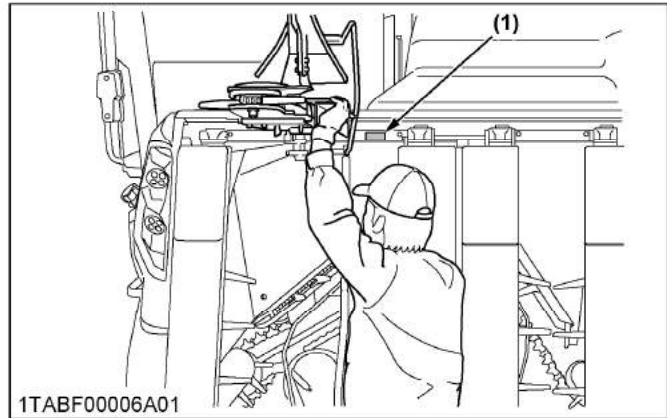
1ESSE00003A01jaJP

# ⚠ 安全作業をするための注意事項



(1) 品番 5H923-7925-1

 <b>警告</b>	1. 引起しオープン状態で、刈取部を回転させると非常に危険ですので、エンジンは絶対に始動しないこと。
	2. 引起し装置が落下して身体がはさまれる恐れがあるので、ロック棒で必ず固定すること。

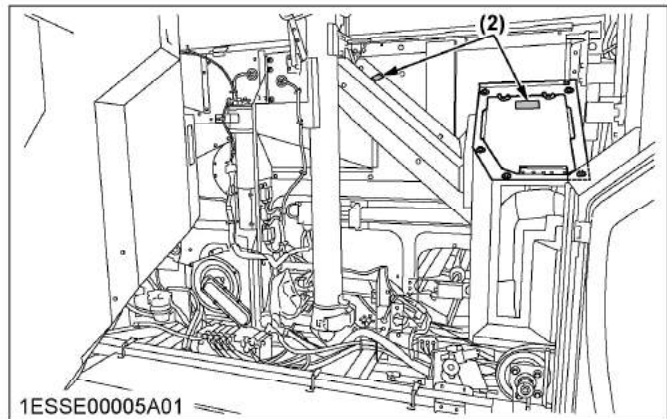
1ARAEBIAP003J




(2) 品番 5H937-4359-1

 <b>警告</b>	マフラ・ハイキカン・エンジンなどの高温部に触れるとヤケドをするので、高温部に絶対に触れないこと。
	

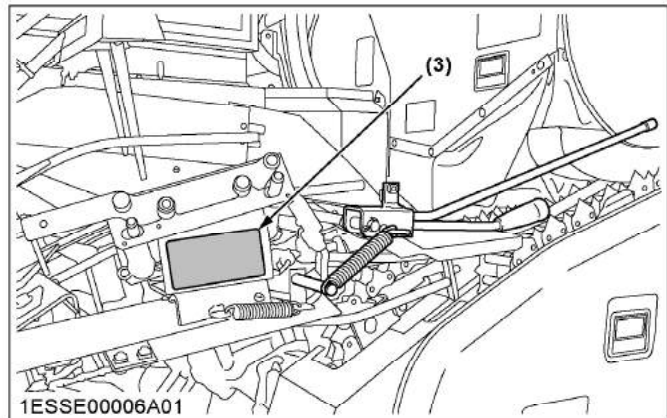
1ARAEBGAP038J



(3) 品番 5H923-7913-2

 <b>警告</b>	<p>手こぎ時：上げ 通常作業時：下げ</p> <p>手こぎ時</p> <p>作業時</p> 
<p>1. 手こぎするときには必ずレバーを上げて行ってください。</p> <p>2. 手こぎレバーの操作は、必ずグリップを持って行ってください。</p>	

1ARAEBIAP004J



1ESSE00004A01jaJP

# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5H911-4354-1

## ⚠️ 警告

坂道やあゆみの上で、副変速レバーを操作すると、機械が暴走する恐れがあるので、絶対に操作しないこと。

### 副変速レバーの取扱い

あぜの乗り越えや傾斜面を上る時などで”作業・走行”段で上れない場合は運転席と刈取部との間にある副変速レバーを押し下げて”畦越え”段に切り換えて下さい。レバー操作は機械を一旦停車して行って下さい。レバー操作後は、変速段が確実に切り換わっていることを確認してから走行して下さい。  
・通常の作業や移動時には”作業・走行”段で使用して下さい。

1ARAEBFAP068J

(2) 品番 5H911-4348-1

## ⚠️ 警告

### 作業前

- 安全に作業するために、取扱説明書を読んで、機械の使い方を覚えること。
- エンジンを始動するときは、主変速レバーを「停止」にし、駐車ブレーキペダルを踏み込み、各作業クラッチを「切」にすること。
- 屋内は排気ガスが溜まり易く、ガス中毒の危険があるので換気すること。
- ケガをするおそれがあるので、掃除・点検・調整のときは、各クラッチを切りエンジンを必ず停止すること。

### 移動・作業中

- 発進するときや脱こく部・刈取部を動作するとき、周囲の安全を確かめ合図して、機械に人を近づけないこと。
- 転落・転倒事故の危険があるので、傾斜地・路肩の軟弱な道路・ガケ際などは走行しないこと。
- 走行を停止するときは、主変速レバーを操作して「停止」の位置にすること。  
※主変速レバーのノブを握ると「停止」の位置がわかりにくくなるので、ノブを握らないこと。
- 道路交通法規定により、トラック運搬時（特にキャビン付）は地上高3.8m以下で運行すること。
- 刈取作業時以外（あぜ乗越時、移動走行時、運搬時、格納時、坂道（傾斜地）走行時）は、「もみ」をすべて排出または降ろして、各作業クラッチを「切」にし、M仕様（車体水平制御）は一番下げた状態にすること。

### 積込・積降ろし

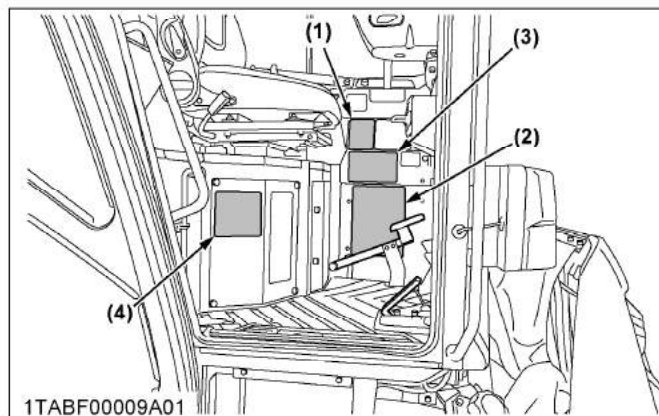
- 転倒・転落事故の危険があるので、車への積み込みおよびあぜ越えは以下を守ること。
  - 積み込みのときは前進で、降ろすときは後進にすること。
  - 副変速を作業にし、エンジンの回転を落として（2000rpm以上）、低速にすること。
  - あゆみの上ではパワーステアリングレバーを操作しないこと。方向を変えるときは、いったん地上または荷台に戻って向きを正し、再度やり直すこと。
  - あゆみ板は段差の4倍以上の長さで、すべり止めがあり、基準に合ったものを使用すること。

### 駐・停車

- 火災の危険があるので、機械を停止するときは、切りワラや雑草の上に止めないこと。
- 急発進・暴走の危険があるので、副変速レバーを切り換えるときは、平坦な場所で主変速レバーを「停止」の位置にし、駐車ブレーキペダルをしっかりと踏むこと。
- 機械から離れるときは、エンジンを止めて始動キーを抜き、駐車ブレーキを必ずロックすること。  
また、坂道で駐車するときは車止めをして暴走を防ぐこと。

1ARAEBFAP064J

1ESSE00007A01jaJP



1TABF00009A01

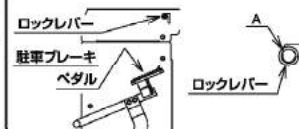
(3) 品番 5H951-4358-1

## ⚠️ 警告

- トラックへの積み降ろし中および、走行中に駐車ブレーキペダルを踏むと急に機体の向きが変わり、転倒・衝突のおそれがあるので踏まないこと。
- 駐車ブレーキをかけるときは、副変速レバーを必ず「N」以外の位置に入れること。  
※副変速レバーが「N」では、油圧ロックが作動しないため、坂道で駐車ブレーキを解除すると暴走し危険です。
- 坂道で駐車するときは、暴走を防ぐため、必ず車止めをすること。

### 駐車ブレーキの取扱い

主変速レバーを完全に停止位置に戻してから駐車ブレーキペダルをロックがかかるまで、強くいっばいに踏んでください。駐車ブレーキペダルを踏みながらレバーを上上げると駐車ブレーキが解除されます。路上走行時はロックレバーはAの位置に引き上げておいてください。



1ESSE00008A01

(4) 品番 5H951-4343-1

## ⚠️ 警告

オーバーヒートで点検口を開いたり運転席をオープンして、エンジンを点検・整備するときは、次の手順を守ること。

- エンジンを止める。
- 必ず停止後30分以上経過してからエンジンルームを開けること。

エンジンが冷えていないときは、ラジエータ部・リザーブタンク部より熱湯が吹き出し、やけどをするおそれがあります。



1ESSE00009A01

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5T130-4322-1

## ⚠ 警告

刈取部を上昇して点検調整を行う時には、必ずロックスイッチを下げ、ロック金具をセットすること。



1ASAEAAAP394J

(2) 品番 5H911-4325-1

## ⚠ 警告

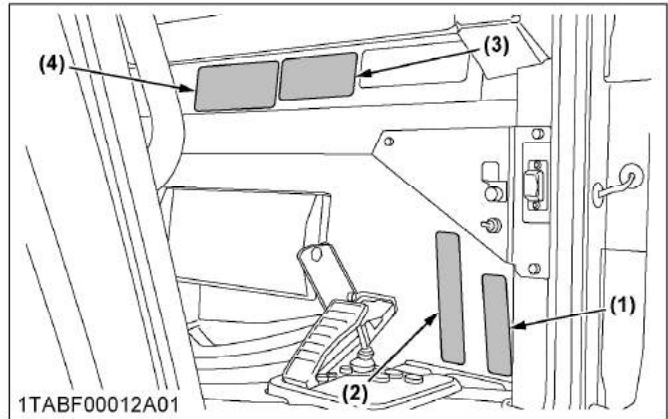
刈取・脱コクONの作業状態では主変速レバーが停止位置にあっても、刈取かき込みペダルを踏むだけで、刈取部が回転するので、注意すること。



## 移動時の操作について

1. 移動時は、エンジン回転を2000rpm以上で使用して下さい。
2. 副変速「走行」での刈取作業は機械のトラブルの原因になりますので使用しないで下さい。

1ARAEBFAP067J



※イラストはQ仕様

(3) 品番 5K141-6471-2



## ⚠ 警告

エンジンを始動する時は、必ず天板およびこぎ廻を閉めること。排気の向きが変わり、火災が発生する恐れがあります。

1ESSE00011A01

(4) 品番 5H911-4323-3

## ⚠ 警告

本製品にはDPF（ディーゼル・パティキュレート・フィルタ）が搭載されています。DPFの再生処理中はマフラ、排気ガスが高温になります。DPFの再生処理を行うときは以下のことを守ってください。

1. 納屋や倉庫など囲まれた場所で再生処理を行わないでください。
2. 再生処理中は排気管周辺から人や動植物が離れていることを確認してください。
3. 再生処理中は排気管周辺に燃えやすいものがないことを確認してください。

詳しくは取扱説明書をご覧ください。

1ARAEBFAP047J

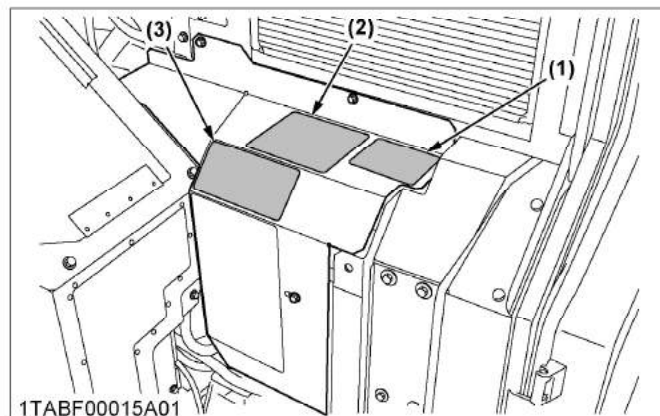
1ESSE00010A01jaJP

# ⚠ 安全作業をするための注意事項


(1) 品番 5H921-4342-1

<b>⚠ 警 告</b>	
	エンジンを回転したままエンジンルームを開けるとファンやベルトでケガをするおそれがあるのでエンジンルームを開けるときは、エンジンを必ず止めること。
	マフラ・ハイキカン・エンジンなどの高温部に触れるとヤケドをするので、高温部に絶対に触れないこと。

1ARAEBIAP012J



(2) 品番 5H951-4343-1

<b>⚠ 警 告</b>	
	<p>オーバーヒートで点検口を開いたり運転席をオープンして、エンジンを点検・整備するときは、次の手順を守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. エンジンを止める。</li> <li>2. 必ず停止後30分以上経過してからエンジンルームを開けること。</li> </ol> <p>エンジンが冷えていないときは、ラジエータ部・リザーブタンク部より熱湯が吹き出し、やけどをするおそれがあります。</p>

1ESSE00013A01

(3) 品番 5H951-4377-1

<b>⚠ 警 告</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運転席オープンする際には、運転席が急に開くおそれがあるので、平坦で傾斜のない場所を選ぶこと。</li> <li>2. 運転席オープン状態では、高温部・回転部が剥きだしとなり、また暴走するおそれもあるので、エンジンをかけないこと。</li> <li>3. オープン収納時は、デッキ下のボルトやフレームのボルト等を確実に組付けること。</li> </ol> <p>* 忘れると移動中に運転席が動いて危険となるため。</p>	

1ESSE00014A01

1ESSE00012A01jaJP

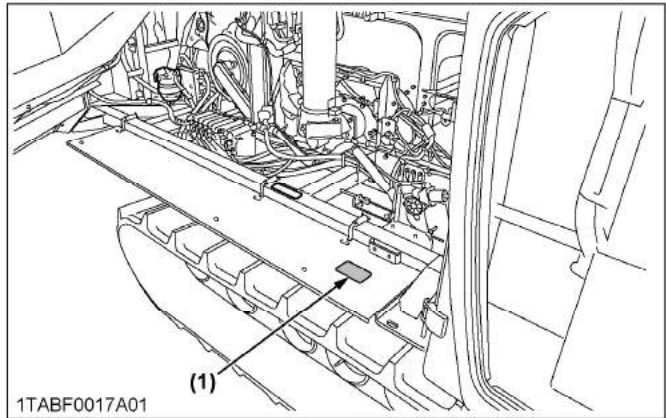
# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5H921-4367-1

## ⚠ 警告

このカバーの上に乗ると変形して  
転倒するおそれがあるので絶対に  
乗らないこと。

1ARAEBIAP019J



(2) 品番 5H921-4342-1

## ⚠ 警告

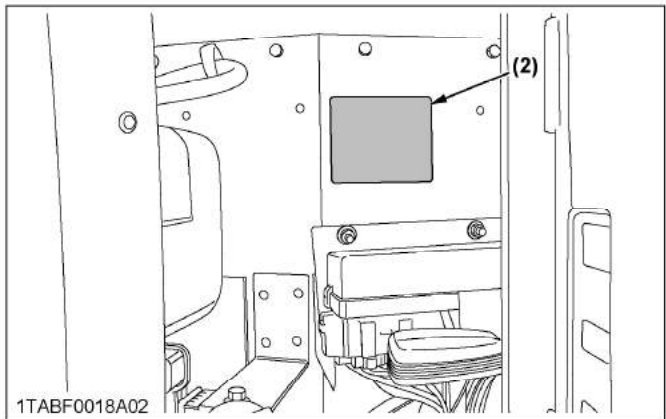


エンジンを回転したままエンジ  
ンルームを開けるとファン  
やベルトでケガをするおそれ  
があるのでエンジンルームを  
開けるときは、エンジンを  
必ず止めること。



マフラ・ハイキカン・エンジ  
ンなどの高温部に触れると  
ヤケドをするので、高温部に  
絶対に触れないこと。

1ARAEBIAP012J

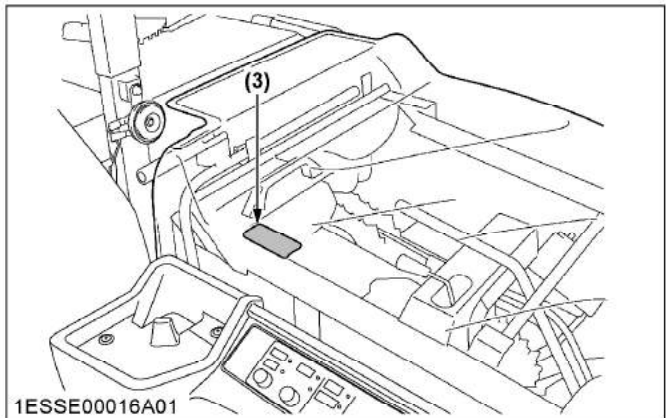


(3) 品番 5H923-7917-1 [Q仕様除くS仕様]

## ⚠ 警告

トラックで輸送するときは、風圧でカバーが  
浮き破損・脱落し、ケガをさせるおそれ  
があるので、刈取部を下げて、ボウジンカバー  
を閉じ、ロープ等で浮き上がりを防ぐこと。

1ARAEBIAP014J




1ESSE00015A01jaJP




# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5K135-6435-1

	<b>⚠️ 警告</b>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. わら等の巻付き・詰まり除去の時は、エンジンを必ず止めること。</li> <li>2. 手こぎ作業で、手・腕をチェーンにはさまれてけがをするおそれがあるので、下記を守ること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・そで口はきっちり止め、手袋、はち巻き、首巻き、腰タオルは使用しないこと。</li> <li>・平坦な所で走行部・刈取部を止め、駐車ブレーキを掛けること。</li> <li>・刈取部は地面に接地させること。</li> <li>・自動車体水平制御は必ず機体を一番下まで下げること。【M仕様】</li> <li>・防じんカバーを開くこと。【防じんカバー付き】</li> <li>・手・腕をチェーンの外側に位置させ、わらを少しずつ送り込むこと。</li> </ul> </li> </ol>


1ARAEBIAP132J

(2) 品番 5K190-6446-1

<b>⚠️ 警告</b> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カッタの刃に接触すると手・指を切断するおそれがあるので、手を絶対に入れないこと。</li> <li>2. ワラ・雑草などの巻付きや詰りを取除くときは、エンジンを必ず止めること。</li> <li>3. カッタ作業時は、カバーを必ず閉じること。</li> </ol>
---	--



1ARAEAPAP016J

(3) 品番 5T130-2575-1

<b>⚠️ 警告</b>  <b>火気厳禁</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災のおそれがあるので給油するときはエンジンを止めること。</li> </ul>
<b>ディーゼル軽油</b>


1ASAEAAAP400J

(4) 品番 5K135-6433-1

<b>⚠️ 警告</b> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回転物に接触するとケガをする恐れがあるので、カバーの下側に手を入れないこと。</li> <li>2. 点検・調整時はエンジンを必ず止めること。終了後はカバーを必ず取付けること。</li> </ol>
	<b>ロックハンドル</b>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カバーを閉じるときロックハンドルを必ず閉の位置にすること。</li> <li>2. ロックが確実にされていないと、落下して危険です。</li> </ol>

1ARAEBIAP015J

(5) 品番 5K141-6471-2

	<b>⚠️ 警告</b>
	<p>エンジンを始動する時は、必ず天板およびこぎ胴を閉めること。排気の向きが変わり、火災が発生する恐れがあります。</p>

1ESSE00011A01

1ESSE00020A01jaJP

(6) 品番 5K141-6469-1

<b>⚠️ 警告</b> 
<p>火災が発生する恐れがあるので、脱穀機の上に可燃物を置かないこと。</p>


1ESSE00018A01

(7) 品番 5K141-6433-1

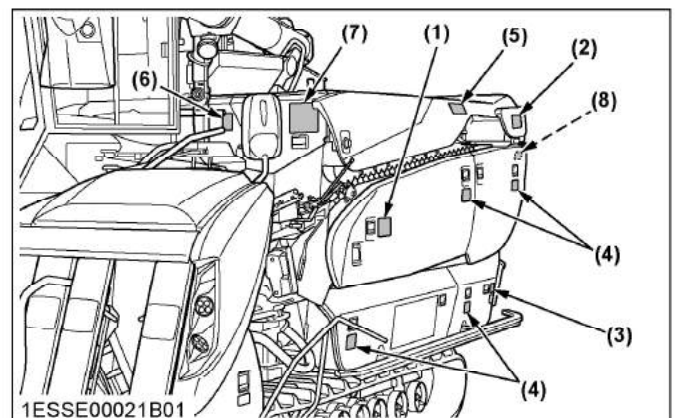
<b>⚠️ 警告</b> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回転物に接触するとケガをする恐れがあるので、カバーの下側に手を入れないこと。</li> <li>2. 点検・調整時はエンジンを必ず止めること。終了後はカバーを必ず取付けること。</li> </ol>
	<b>ロックハンドル</b>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脱こく前カバーを取付けるときはロックハンドルを必ず閉の位置にすること。</li> <li>2. ロックが確実にされていないと、落下して危険です。</li> </ol>
	<b>パネ板</b>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脱こく前カバーを取付けるときは、カバー右下部が、本機側のパネ板に確実に掛かるまで閉じること。</li> <li>2. ロックが確実にされていないと落下して危険です。</li> </ol>

1ESSE00019A01

(8) 品番 5K275-6442-2

<b>⚠️ 警告</b> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カッタの刃に接触すると手・指を切断するおそれがあるので、手を絶対に入れないこと。</li> <li>2. チェーン・ベルトに接触すると、手をケガするので、手を絶対に入れないこと。</li> <li>3. カッタ開閉時はエンジンを必ず止めること。</li> <li>4. カッタをオープンしたまま運転しないこと。</li> <li>5. 点検・調整、ワラ・雑草などの巻付きや詰りを取除くときはエンジンを必ず止めること。</li> <li>6. 点検・調整などが終わったら、カバーを元通りに必ず取り付けすること。</li> </ol>
---	---

1ARADAKAP2310



1ESSE00021B01

# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5H700-4367-1

(4) 品番 5G271-6317-1



1. 刈取オープン作業は平たんで安全な場所で、刈取部の昇降以外はエンジンを必ず止めて行って下さい。
2. 刈取部をオープンしたまま、走行しないで下さい。
3. 枕木などで刈取部の落下防止の歯止めをして下さい。

1ARAEAOAP114J

## ⚠️ 警告

ロックが外れ、側板が開くおそれがあるため、点検・調整後はカバーを必ず閉めること。

1ESSE00024A01

(2) 品番 5G271-6314-2

## ⚠️ 警告

グレンタンクをオープンするときは、回転物に接触したり、タンクに身体がはさまれるおそれがあるので、平坦な場所で、内部の「もみ」を排出し、エンジンを停止してからオープンすること。

### ◆タンクオープンのしかた

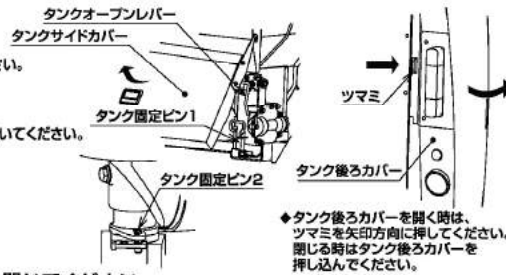
- 1) タンク内を空にしてエンジンを停止してください。
- 2) タンクサイドカバーのロックを解除し、取り外してください。
- 3) タンク後ろカバーを開いてください。
- 4) タンク固定ピン1を解除してください。
- 5) タンクオープンレバーを持って手前に引き、タンクを開いてください。

開いた後はタンク後方に取り付けてあるタンク固定ピン2でタンクを固定してください。

- 6) タンクを閉じる時は上記と逆の順番で確実にタンクを固定してください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

### ◆タンクをオープンする時は、カッターを閉じてください。



◆タンク後ろカバーを開く時は、ツマミを矢印方向に押してください。閉じる時はタンク後ろカバーを押し込んでください。

1ESSE00022A01

(3) 品番 5G271-6316-3

## ⚠️ 警告

側板をオープンするときは、回転物に接触したり、タンクに身体がはさまれるおそれがあるので、平坦な場所で、内部の「もみ」を排出し、エンジンを停止してからオープンすること。

### ◆側板オープンのしかた

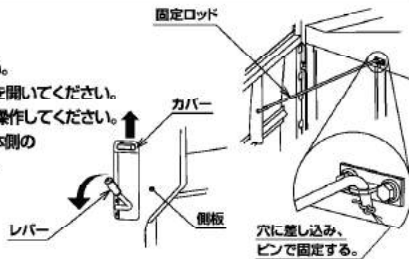
- 1) タンク内を空にしてエンジンを停止してください。
- 2) タンクサイドカバーを外し、タンク後ろカバーを開いてください。
- 3) 側板のカバーを押し上げ、中のレバーを手前に引き下げ、側板を開いてください。

勢いよく開くおそれがあるため、風の強い日には特に注意して操作してください。開いた後は、側板内側に取り付けてある固定ロッドをタンク本体側の穴に差し込み、ロッドが抜けないうピンで固定してください。

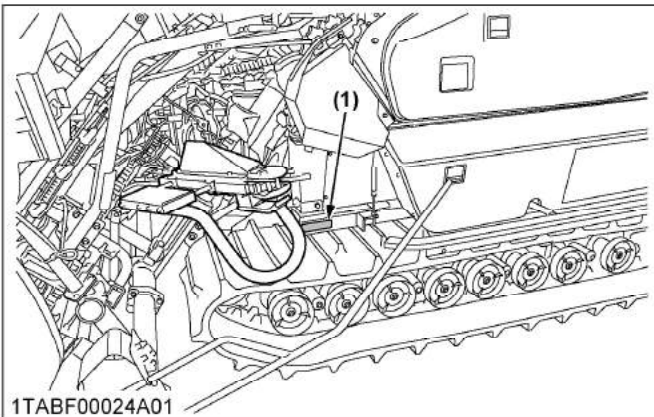
- 4) 側板を閉じる時は、上記と逆の順番で確実に側板を固定し、カバーを閉めてください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

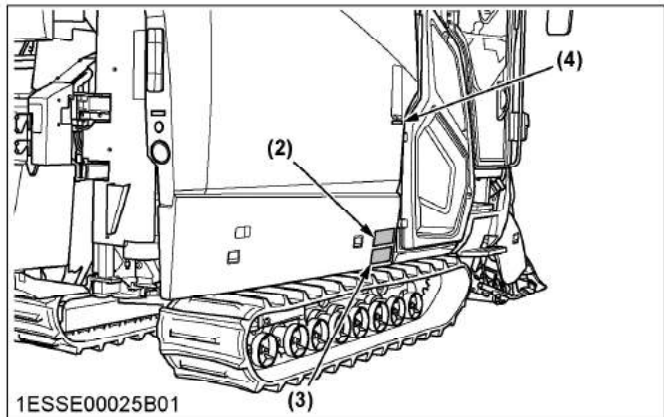
### ◆側板オープンは、グレンタンクオープンと同時にやらないでください。



1ESSE00023A01



1TABF00024A01




1ESSE00025B01

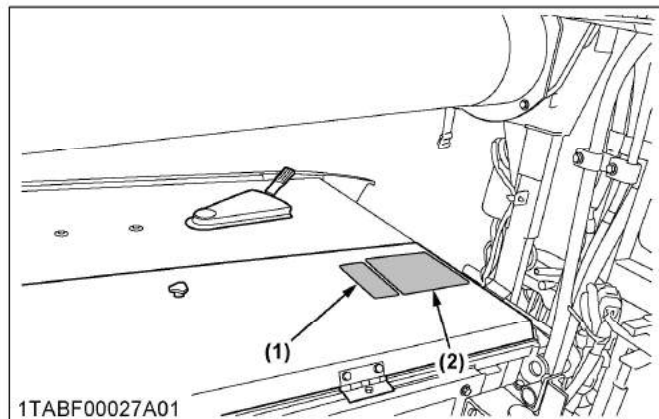
1ESSE00026A01jaJP

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5K141-6471-2

	<b>⚠ 警告</b>
	<p>エンジンを始動する時は、必ず天板およびこぎ網を閉めること。排気の向きが変わり、火災が発生する恐れがあります。</p>

1ESSE00011A01



(2) 品番 5K141-6467-1

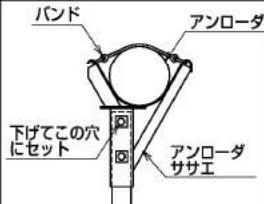
<b>⚠ 警告</b>	
	<p>エンジンを始動する時は、必ず天板を閉めること。巻き込まれるおそれがあります。</p>
	<p>エンジンを始動する時は、必ず天板を閉めること。排気により天板が熱くなり、火傷をするおそれがあります。</p>
	<p>グレンタンクを閉める時は、天板を完全に閉めること。天板が破損し、ケガをするおそれがあります。</p>

1ESSE00017A01

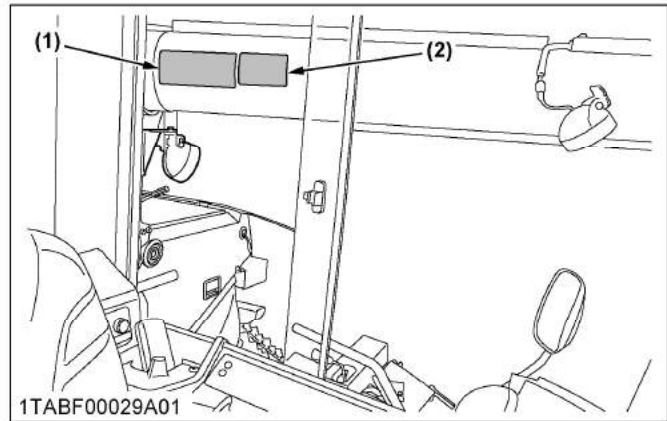
1ESSE00027A01jaJP

# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

## (1) 品番 5G265-7113-1

<b>⚠️ 警告</b>	<b>告</b>
<p>あぜ越え、移動走行時及びトラック等で輸送する場合、アンローダがササエから外れると人や物に当たり、ケガや損傷のおそれがあるのでアンローダは必ず、次の通りに収納状態にすること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンローダササエを下げてセットする。</li> <li>2. アンローダを収納する。</li> <li>3. アンローダが浮き上がらないようバンドで確実に固定する。</li> </ol>	

1ARAEBFAP070J

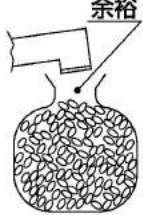


## (2) 品番 5H937-4329-1

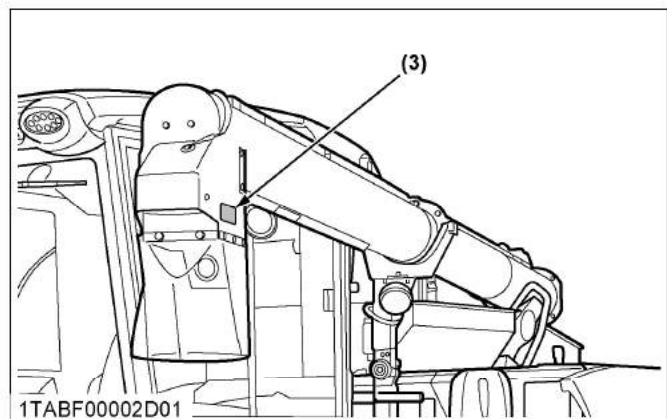
<b>⚠️ 警告</b>	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手をはさみ、けがをするおそれがあるので、アンローダササエの上に手を置かないこと。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. アンローダ先端が大きく動き、けがをするおそれがあるので、アンローダの作用範囲に人がいるときは、アンローダを動かさないこと。</li> </ol>

1ARAEBFAP071J

## (3) 品番 5T130-6425-1

<b>⚠️ 警告</b>	<b>余裕</b>
<p>中に回転物がありケガをするおそれがあるので、運転中は絶対に手を入れないこと。</p>	 <p>袋詰め時、余裕を持って排出クラッチを切ること。</p> <p>アンローダが詰まると、駆動システムの故障の原因になります。</p>

1ASAEAAAP405J



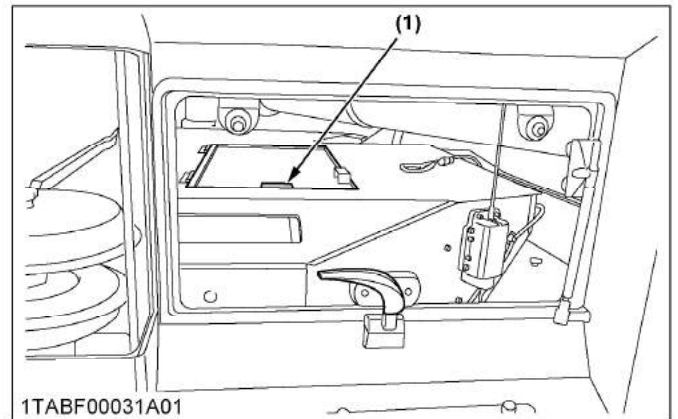
1ESSE00028A01jaJP

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5T130-3129-1

<b>⚠ 警告</b>
中に回転物がありケガをするおそれがあるので、運転中は絶対に手を入れないこと。

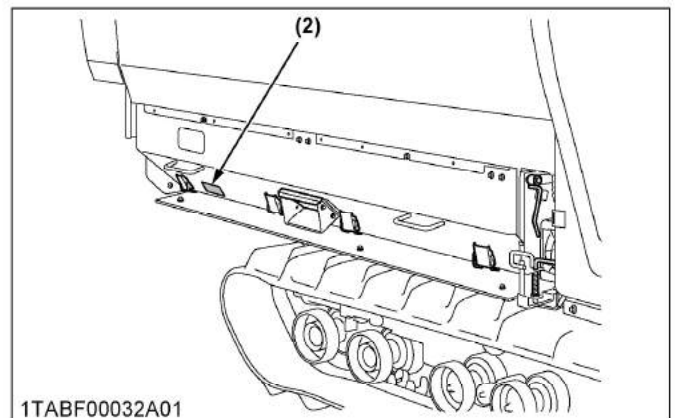
1ASAEAAAP402J



(2) 品番 5T130-6462-1

<b>⚠ 警告</b>	<b>掃除口</b>
	中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。清掃後はフタを必ず閉じること。

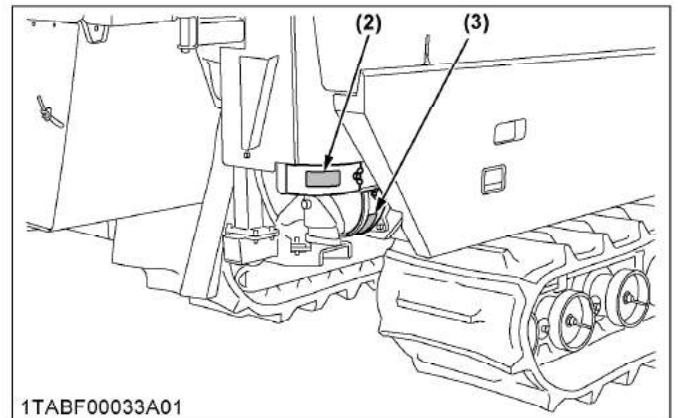
1ASAEAAAP401J



(3) 品番 5G269-6474-1

<b>⚠ 警告</b>
<b>掃除口</b>
中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。清掃後はフタを必ず閉じること。

1ARAEBFAP072J



1ESSE00029A01jaJP

# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5G269-6474-1

(2) 品番 5T130-6461-1

## ⚠ 警告

### 掃除口

中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。清掃後はフタを必ず閉じること。

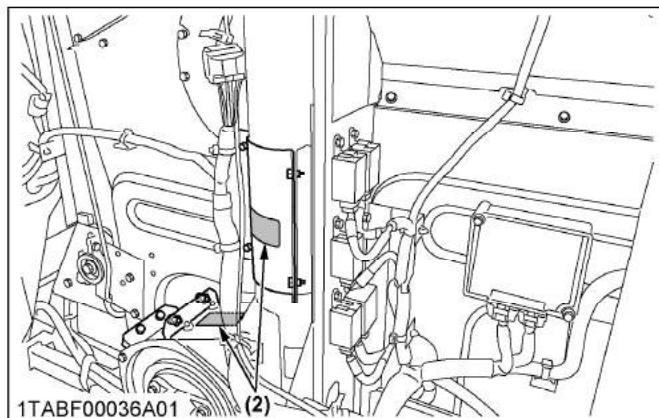
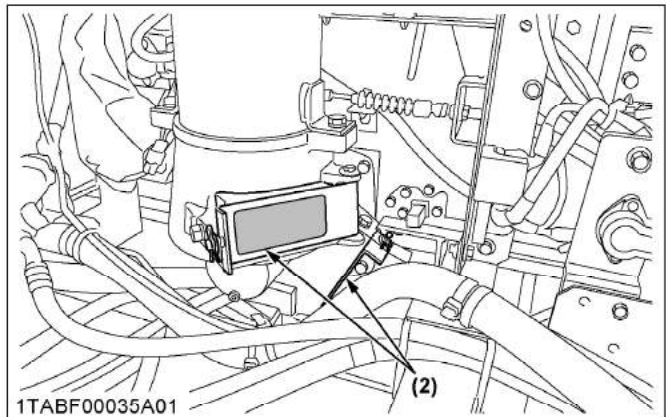
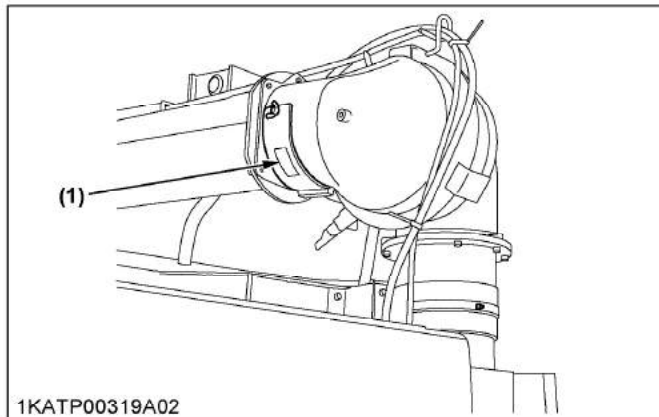
1ARAEBFAP072J

## ⚠ 警告

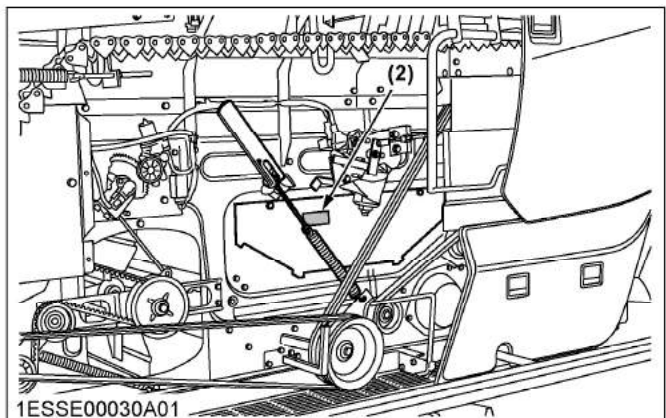
### 掃除口

中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。清掃後はフタを必ず閉じること。

1ASAEAAAP395J



1ESSE00031A01jaJP



# ⚠ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5K141-6421-1

## ⚠ 警告

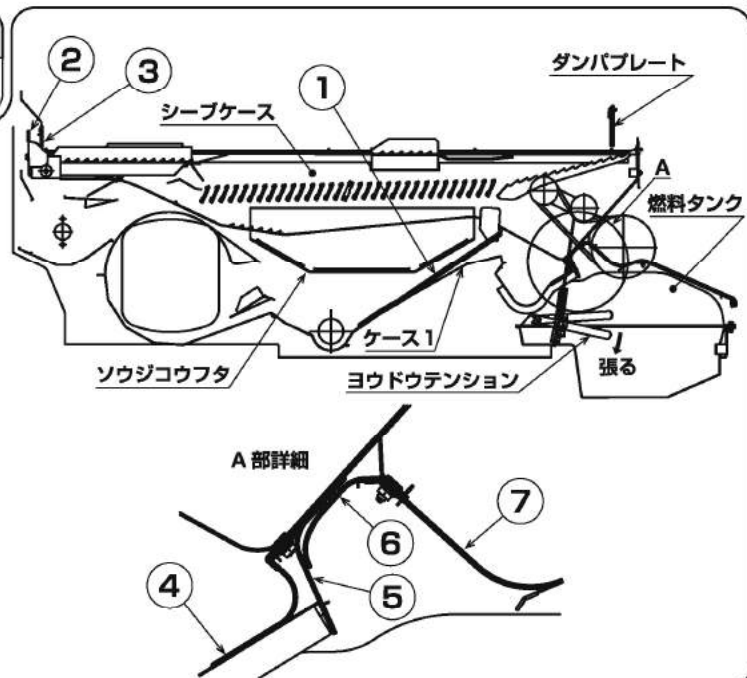
シーブケースは重いので脱着作業は3人で  
行うこと。

### 必ずしてください

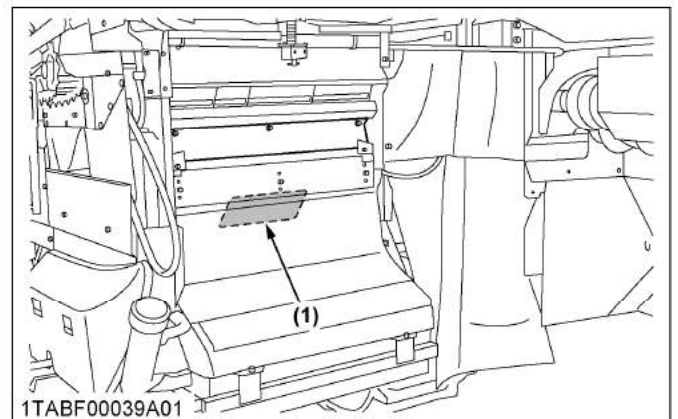
- ・シーブケース取り付け後はハンブ②はハンブ③の前、ハンブ①はケース1の上にあることをソウジコウフタを開いて確認して下さい。また、ハンブ④、ハンブ⑤、ハンブ⑥、ハンブ⑦は詳細図の様にセットして下さい。
- ・ヨウドウテンションを忘れないように張り側へセットして下さい。
- ・ダンバプレートを図の様にセットして下さい。

### 必ずしてください

- ・シーブケースを抜き出す時はダンバプレートを外して下さい。



1ESSE00138000



1ESSE00032A01jaJP

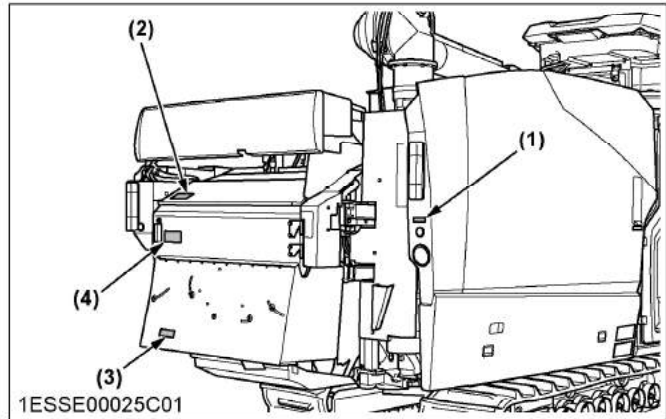
# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5G261-6432-1

## ⚠️ 警告

中に回転物がありけがをするので、  
点検・調整時はエンジンを必ず止めること。  
点検・調整後はカバーを必ず取付けること。

1ARAEBFAP074J



(2) 品番 57691-5166-1

## ⚠️ 警告



1. このカバーの中は刃物が回転しており危険なので、手を絶対にいれないこと。
2. 点検・調整、わら・雑草などの巻付きや詰りを取除くときはエンジンを必ず止めること。
3. 点検・調整などが終わったら、危険ですのでカバーを元通りに必ず戻すこと。

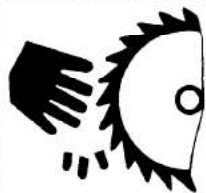


1. このカバーを閉じる場合、必ずロックハンドルを引き上げた状態でカバーを閉じ、ロックすること。
2. ロックが確実にされていないと、エンジンをかけ脱こくクラッチを入れるとエンジンが停止します。

1AARAEBFAP075J

(3) 品番 57691-5315-1

## ⚠️ 警告



1. このカバーの中は刃物が回転しており危険なので、手を絶対に入れないこと。
2. ワラ・雑草などの巻付きや詰りを取除くときは、エンジンを必ず止めること。

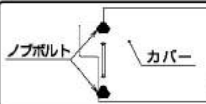
1ARAEBFAP076J

(4) 品番 5F060-5138-1

## ⚠️ 警告



1. このカバーの中は刃物が回転しており危険なので、手を絶対にいれないこと。
2. 点検・調整、わら・雑草などの巻付きや詰りを取除くときはエンジンを必ず止めること。  
点検・調整などが終わったら、危険ですのでカバーを元通りに必ず戻すこと。



1. このカバーを閉める時は、必ずノブボルト2箇所確実に締付けてロックすること。
2. ロックが確実にされていないと、エンジンをかけ脱こくクラッチを入れるとエンジンが停止します。

1ESSE00034A01

1ESSE00033 A01jaJP



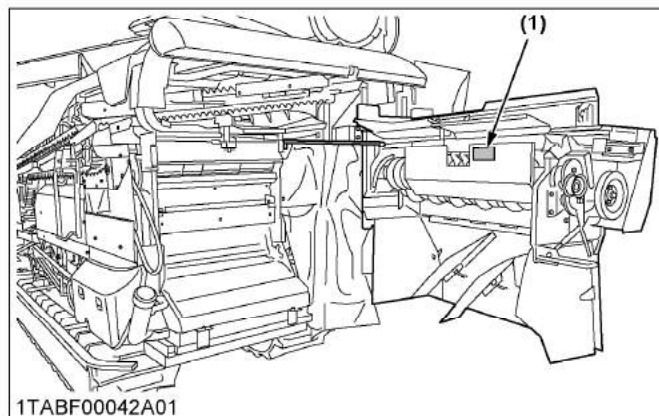
# ⚠️ 安全作業をするための注意事項

(1) 品番 5F054-5124-1

## ⚠️ 警告

1. カッターをオープンしたら、不用意な動きを防ぐため規制金具で確実に、ロックすること。
2. カッターの刃に触れると手・指を切るので、巻付きや詰りを取除くとき刃に絶対触れないこと。

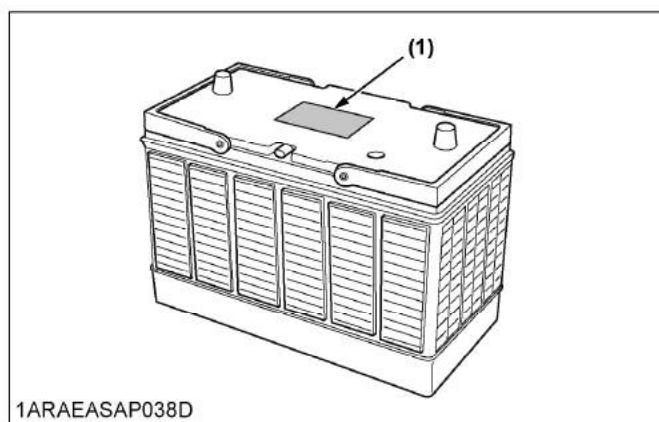
1ARAEBFAP077J



(1) 品番 5H951-4111-1

	SNPB-1035
<p>火気禁止 メガネ着用 こども禁止 硫酸注意 説明書熟読 爆発注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水素ガス発生、取扱いを誤ると引火爆発の恐れあり</li> <li>・工具等でショートやスパークをさせない・充電は風通しのよい所で行う</li> <li>・ブースターケーブルの使用は取扱説明書に従う</li> <li>●バッテリー液（硫酸）で失明ややけどの恐れあり</li> <li>液がついたらすぐに多量の水で洗い、目の場合は医師の治療を受ける</li> <li>●爆発の恐れあり、液面はLOWER以下で使用しない</li> <li>●液漏れの恐れあり、UPPER以上に補水しない</li> </ul> <p><b>危険</b> <b>DANGER</b> KEEP SPARKS, FLAME, CIGARETTES AWAY. ÉLOIGNEZ LES ÉTINCELLES, FLAMME, CIGARETTES.</p>	公称電圧 12V

1ESSE00163A01



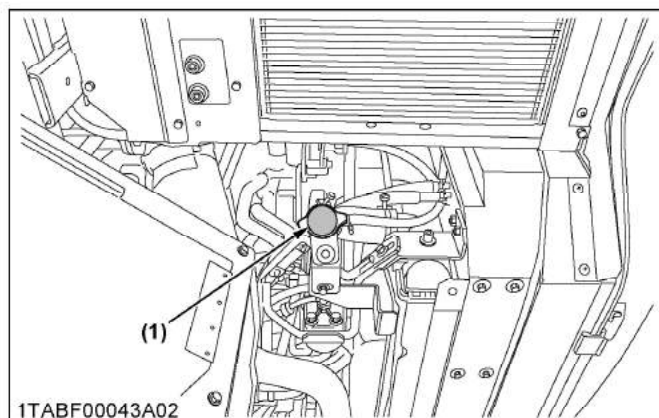
(1) 品番 16667-8724-1

⚠️ 警告

熱い時あけないこと。  
NEVER OPEN WHEN HOT.  
NE JAMAIS OUVRIE À CHAUD.

⚠️ WARNING

1PANZ00034A01




1ESSE00035A01jaJP

# 安全作業をするための注意事項

## 2. 表示ラベルの取扱い

表示ラベルをよく読み理解して、安全注意事項を守ってください。

- ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
-  表示ラベルがよごれた場合は、石鹼水で洗い、やわらかい布でふいてください。  
シンナー、アセトンなどの溶剤を使うと、文字又は絵が消えることがあります。
- 高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあるので、高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損又は紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、貼付面の汚れを完全にふき取り、乾いた後、もとの位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。